「ツベルクリン」ニ關スル研究(第三報)

第三編 「ツベルクリン」及各劃分ノ免疫學的研究

九州帝國大學醫學部細菌學教室(主任 戶田教授)

大學院學生 村 田 正 夫

(10月20日受領)

(本研究ハ帝國學士院ノ援助ニ依ルトコロ大デアル。記シテ謝意ヲ表ス。研究指導者 戸田 忠雄)

目 次

緒言

第一章 「ツベルクリン」及各劃分ニョル感染防禦 カニ關スル實驗

第一節 實驗方法

第二節 實驗成績

第三節 本章ノ小括

第二章 「ツベルクリン」割分、加熱死菌、燐脂質 及 BCG 等ニョル感染防禦力比較實驗

第一節 實驗方法

第二節 實驗成績

第三節 本章ノ小括

第三章 BCG 處置後「ツ」劃分ヲ以テ處置セル海

猽ノ感染防禦實驗

第一節 實驗方法

第二節 實驗成績

第三節 本章ノ小括

第四章 「ツベルクリン」及各劃分ニョル治療效果 實驗

第一節 實驗方法

第二節 實驗成績

第三節 本章ノ小括

第五章 總括及考按

第六章 結 論

緒 言

現今二於ケル結核発疫學ヲ見ルトキ、吾々ハニッノ潮流ヲ見ルコトガ出來ルデアラウ。其一ハ、結核発疫ーハ生菌ヲ以テスルヲ可トスルモノデアリ、其二ハ、死菌ヲ用フルガ可ナリトスルモノデアル。而シテ前者ニ屬スルモノトシテ最モ注目スベキハ、Calmette⁽¹⁾ 及其一派ニ依リ創見、唱道セラレツ、アル BCG デアツテ、而モコノモノハ、フランスニ於テハ旣ニ實用化サレツ、アル現況デアル。

一般ノ急性傳染性疾患ニ 於テ、之ヲ 例へバ「チ フス」ニ於ケル、又脈疹或ハ 痘瘡ニ 於ケルガ如 ク、一度是等ニ罹患後ハ當該疾病ニ對スル免疫 力ヲ保有スルト云フ事實、猶又、豫防的ニモ減 毒性或ハ無毒性「ワクチン」ガョク效果ヲ示スト 云フニ端ヲ發シ、碩學 R. Koch (**) ハ結核ニ於テ、ソノ病原菌發見當時犬ニ於ケル感染免疫ノ事實ヲ確認シ、次デ1891 年コッ本氏現象ノ發表ト、之ニ引續キ行ハレタル Römer (**), Hamburger (**) 等ニョル業績、Della Cella (**), Detre-Deutsch (**), Feistmantel (**) 等ノ結核海賀ニ於ケル、又 Kraus u. Volk (**) 等ノ猿ニ於ケル該現象ノ再確認ト相俟ツテ結核ニ於ケル感染免疫ハ實證サレルニ至ツタノデアル。斯クテ生菌ヲ以テ結核免疫ニ資シ、實驗ニ供サレタルモノニ、Bovovakzin (Behring (**), 1902), Tauruman (Koch(**)), Schütz, Neufeld u. Miessner 1905), Antiphymatol (Klimmer(**)) 1908), Friedmann's Antigen(**) (1903), "Alpha" Antigen

(Ferran⁽¹³⁾), "R₁" Antigen (Trudeau⁽¹⁴⁾1903), 志賀氏発疫元、其他鳥型結核菌(Mac⁽¹⁵⁾ Fodyean. Scheather, Edwards u. Minett 1913)、 「チモテー」菌、恥垢菌等ヲ擧ゲル事が出來ルノ デアル。而シテ是等ヲ大別スルニ、

- 1. lebende säurefeste Saprophten,
- 2. lebende virulente bezw. in ihrer Virulenz nur gering abgeschwächte,
- 3. lebende, aber in ihrer Virulenz stark abgeschwächte Tuberkelbazillen.

ノ3種類ニ屬スル Antigen トナルノデアルガ、 第1ニ屬スルモノハ発疫元トシテノ價値ハ意義 少ク、第2ニ屬スルモノトシテハ、Hamburger 16 ガ人體ニ於テ始メテ毒力菌ラ Schutzimpfung ニ用ヒ、次デ Webb(17), Williams ニ依リ 人體及動物ニ於テ實驗ガ行ハレタガ顧ミラレル ニ至ラズ、第3ニ屬スル Calmette 等ノ BCG ガ 出ズルニ及ンデ初メテ醫界ニ否人類ノ福祉增進 ノ上ニ輝シキ曙光ヲ見出スニ至ツタノデアル。 - 方細菌學ニ於ケル菌體化學ニ關スル諸研究ハ **晚近益、旺ントナリツ、アリ、結核菌ニ於テモ** 死菌乃至ハ是等 ヨリ 得 タル 諸種菌體成分ヲ用 ヒ、結核感染ニ對シ免疫ヲ得ントスル努力ガ拂 ハレツ、アルノデアル。旣ニ死嵙発疫成立ノ可 能ニ關シテ 1897 年 R. Koch 18) ハ 南體 - 化學 的處置ヲ加ヘタル製劑ヲ動物ノ腹腔内ニ注射ス ルトキハ、発疫附與ハ證サレナイガ、死菌ヲ用 フルトキハ一定度ノ発疫性ヲ附與セシメ得ルト 唱へタニ始マリ、前記 BCG 等が、例へコレラ ガ弱毒或ハ無毒ト稱セラレルモノデアツテモ、 生菌ナルガ爲、或ハ乂强毒還元ノ危惧ヲ抱クモ ノハ専ラ死菌免疫ヲ支援 シタノデアル。Calmette 及其一派、Rosenau u, Anderson(19), Fischl⁽²⁰⁾, Darenberg⁽²¹⁾, Vallée⁽²²⁾, Beck⁽²³⁾, Aronson⁽²⁴⁾, Feinblatt u. Eggerth⁽²⁵⁾, Selter⁽²⁶⁾, Haupt [27] 等ハ全クソノ效果ヲ否定シテ居ルノ デアルガ、Hericourt u. Richert⁽²⁸⁾, Langer⁽²⁹⁾, Uhlenhuth u. Götten⁽³⁰⁾, Petroff u. Stewart⁽³¹⁾, Böcker u. Nakayama⁽³²⁾, H. Fernbach⁽³³⁾,

Lange u. Freund⁽³⁴⁾ 等ハ多少ナリトモ 死菌発 疫ノ效果ヲ認メテ居ルノデアル。斯クテ多種多 様ナル死菌製剤ガ輩出シタ。本邦ニ於テ渡邊⁽³⁵⁾、 有馬、太繩、青山(36)(37)等ハ夫々免疫元ヲ製出シ、 コレラガ BCG ニ優ルトモ劣ラヌ效果ヲ示スト 云ツテヰルガ、コレヨリ先、志賀、百瀨(38)、野 口(39)及 Zeuner, Löwenstein(40) 及清野(41)、 Dreyer⁽⁴²⁾ 等各自獨特ノ處置法ニョリ得タル発疫元 ノ效果ヲ唱ヘテヰルノデアル。又他方菌體ヨリ 抽出セラレタル菌體成分ニ關シテモ免疫力ガ考 ヘラレタ。 1891 年 Baber⁽⁴³⁾,西浦等 ニヨル類 脂肪體ノ研究ニ端ヲ發シ、Much⁽⁴⁴⁾, Barissaksiber⁴⁵, Metalinikou⁽¹⁶⁾, Anderson⁽¹⁷⁾, Sabin⁽⁴⁸⁾, Pinner⁽⁴⁹⁾ 等ノ研究アリ、本邦ニ於テ 渡邊⁽⁵⁰⁾, 中島(51)、山田、佐藤(52)、 箭頭(53)、 川村(54)等ハー 定度ノ発疫力ヲ類脂體ニ認メテヰル。斯クテ死 菌或ハ菌體成分ニ或程度ノ発疫賦與力ガ肯定サ レテハ居ルノデアルガ、今村教授ノ下ニ於ケル、 **又戸田教授ノ下ニ於ケル比較實驗ニ於テ死菌或** ハソノ製劑ハ、BCG ニ遠ク及バナイノデアル。 然ラバ何故ニ生菌発疫ト死菌発疫ニ於テ、斯ク ノ如キ差異ガ生ズルノデアラウカ。此疑問コソ 結核免疫ニ於テ解決サルベキ先決問題デアリ、 コノ問題ノ氷解コソ生菌が是カ死菌が否カノ難 問ニ曙光ヲ與ヘルモノデハナイカト考ヘル。 飜ツテ惟フー.「ツベルクリン」ハ生結核菌體ョ リ分泌サレタル毒素ト考ヘラレルノデアルガ、 余ハ既ニ第1報ニ於テ、ソノ物理化學的性狀ノ 一部ヲ明カーシ、第2報ニ於テ生物學的性狀ヲ 瞭ニスルト共ニ Ha-stoff ニ特異ナル性質ヲ見 ル事が出來タ。即チ結核海猽ニ於テ、之ヲ positive Anergie ニュル能力ヲ保有スルト同時ニ、 コノ物質ガ局所「アネルギー」ノ實驗ニ於テ、當 該局所ニ强毒結核生菌ノ再接種ニ際シ、コッホ 氏現象ノ早期反應ヲ缺クニモ拘ラズ、而モ獨臺 モ局所變化ヲ來サズ、他ノ場合ニ比シ强力ナル **発疫現象ヲ見タノデアル。**

於此、余ハ「ツベルクリン」並ニソノ割分ノ発疫學

的研究ノ要ヲ感ジ、本編ニ述ブルガ如キ實驗ヲ

企圖シ、少シク得ル處アリタルヲ以テ此處ニ報 ル 告シ大方諸賢 / 批判ヲ乞 ハントスル 次第デア

第一章 「ツベルクリン」及ビ各劃分ニヨル感染防禦力ニ關スル實験

本實驗ハ「ツベルクリン」、Np-stoff, To-stoff, Ha-stoff 等ニ毒力結核菌感染ニ對スル 発疫賦 與力ノ存スルヤ否ヤ、若シ発疫力アリトスレバ 何レノ劃分ニアルヤラ、知ラントシタモノデアル。

第一節 實驗方法

第一項 供試獸 健康成熟海線25頭ヲ使用シ、之ヲ 5群ニ分ツ。A.T. 免疫群、Np-stoff 免疫群、To-stoff 免疫群、Ha-stoff 免疫群、及ビ非免疫對照群トスル。 第二項 免疫元 僖「ツ」ハ傳研製ヲ用ヒ、生理的食鹽 水ヲ以テ適宜稀釋シテ使用ス。 Np-stoff, To-stoff, Ha-stoff ハ第一編ニ記載セル方法ニ依リ、「ソートン・ ツベルクリン」ョリ分離シ、適量ヲ生理的食鹽水ニ溶 解シテ使用スル。

第三項 免疫法及免疫期間(第1表参照)

舊「ツ」ハ、ソノ生理的食鹽水 10 倍稀釋液 ヲ 5 日目毎 ニ、0.2—0.2—0.3—0.3—0.4—0.5—0.5 ccm ト漸次 増量シテ皮下ニ注入スル。

Np-stoff, To-stoff, Ha-stoff ハ各々正確ニ 秤量 シテ、0.2-0.2-0.3-0.3-0.4-0.5-0.5 mg ト増量シ、

毎囘生理的食鹽水 0.2 ccm ニ溶解 シタルモノヨ 5 日 目毎ニ皮下ニ注射シタ。

第四項 感染法 Petragnani 氏培地上= 略: 1ヶ月 培養シス Frankfurt 株人型結核菌ヲ用ヒ、生理的食 鹽水1ccm = 1 mg ヲ含ム様=平等=浮游サセ、ソノ 0.1ccm(結核菌ハ 0.1 mg)ヲ各群共、前記免疫終了後 1週目=下腹側部皮内=注射シス。

第五項 觀 察

- 1. 免疫元注入局所皮膚 > 變化。
- 2. 免疫前後、毒力菌感染2週後剖檢前ノ「ツベルクリン」皮内反應。
- 3. 免疫前、毒力菌接種時、剖檢時ニ於ケル體重測定。
- 4. 毒力菌接種局所皮膚及近接淋巴腺/變化。
- 5. 感染53日後ニ於ケル剖檢所見。

表

第二節 實驗成績

1

第一項 **免疫元注入局所ノ變化**(第1表) 各群、各獸トモ潰瘍或ハ痂皮ヲ形成シタルモノ

第

- 1例モナク、唯舊「ツ」免疫群ニ於 テ1頭(Nr.
- 3)、Np-stoff 免疫群ニ於テ3頭(Nr. 6, 8, 9)、

免疫	番	性	體		免疫	元 注 ノ	回 數	女、量 及	. 月 日		硬	潰	痂
免疫元	號	別	重 ^{。g}	第1回 23/XI	第2回 28/XI	第3回 3/XII	第4回 8/XII	第5回 13/XII	第6回	第7回 23/XII	結	痬	皮
A.T.	1	\$	300	10×A.T. 0.2cc	10×A.T. 0.2cc	10×A.T. 0.3c.c.	10×A.T. 0.3cc	10×A.T. 0.4cc	10×A.T. 0.5cc	10×A.T. 0.5cc	_	_	-
	2	\$	300	,,	,,	,,	,,	,,	,,	,,	_	_	_
免 疫 群	3	\$	280	•••	,,	,,	,,	,,	**	••	+	_	_
群	4	\$	360	,,	,,	,.	,,	,,	***	٠,,	_		_
	5	\$	300	.,	,,	•,	,,		.,		_		,
	6	\$	310	0.2mg	0.2mg	0.3mg	0.3mg	0.4mg	0.5mg	0.5mg	+	_	
Np-s	7	\$	320			,,	••	,,	,,	.,	_	_	_
免疫	8	\$	310	. •	,,		.,	.,	,,	,,	+	_	_
群	9	\$	290	••	,,	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	,,	٠,	,,	••	+	_	_
**T	10	\$	300	,,	,,	,,	,,	••	,,	,,		_	_

-	11	· •	310							ī I		-1
To-s	12	-	345	••			''-	••	••	,,		
免		\$		•		.,	'' -	••	,,			-
疫	13	3	315	•		,,	,,	**	•••			-1
群	14	\$	330	••	••	••	••	**	••			_
	15	\$	305,									_
Ha-s	16	<u>\$</u>	350	,,	-			••	**	,,		-
免	17	\$	290	**				••	** .			_
疫	18	\$	360	••			,,	,,	,			
群	19	\$	310		.,	,	,,		••	,,	- - -	
	20	\$	300	.,			,,			,,	_ _ _	

豌豆大便結ヲ認メタルモノアルガ、発疫終了後 3週ニテ何レモ消失シタ。卽チ各発疫元トモ何 等認ムベキ局所變化ハ惹起セザルモノト考ヘラ レル。

第二項 発疫前後及ビ剖檢時ニ於ケル體重 (第3表)

発疫前及発疫後ニ於ケル體重ノ變化ヲ見ルニ、 對照即チ無處置群ト比シ何等差異ヲ認メズ最少 40gr,最大 200gr ノ増加ヲ見ル。即チ何レノ 発疫元ニョリテモ海猽ノ體重ハ著シキ影響ヲ蒙 ラナイ様デアル。次デ毒力菌接種時ト剖檢時ノ 體重ヲ觀察スルニ、A.T. 免疫群ニ於テハ5頭 中2頭増加、3頭ハ減少ヲ示シ、Np-免疫群ニ テハ1匹増加、3匹ハ減少、1匹ハ増減ナク、 To-stoff 免疫群ニテハ4頭ニ於テ減少リ見、 Ha-stoff ニ於テハ減少セルモノハ1匹ノミニ テ、3匹ハ増加ヲ示シテキル。而シテ對照群ハ 全部體重ノ減少ヲ示シタ。コノ成績ニョレバ、 Ha-stoff 免疫群ヲ除キテハ毒力菌接種ニョリー 般ニ體重ノ減少ヲ來スモノ、如クデアリ、コノ 結果ハ又、免疫時及剖檢時ニ於ケル體重ノ比較 ニ於テモ、Ha-stoff 免疫群ハ何レモ體重ノ増加 ヲ示シタルト思ヒ合セテ、Ha-stoff 處置ハ多少 抵抗力ヲ増進スルニアラズヤト思考セラレル。

第三項 発疫前後ニ於ケル「ツ」皮内反應 (第2表)

余ハ第2報ニ於テ「ツベルクリン」及各割分共ニ「アレルギー」賦與能力ヲ有セザル事ヲ記シタノデアルガ、本實驗ニ於テモ、各免疫元何レモ「ツ」反應陽性化セルヲ見ナカツタ。然シナガラ毒力菌接種ニヨリテハ各獸何レモ2週後ニハ「ツ」反應陽性トナリ、又1ノ皮內反應ハ剖檢前ニ於テモ何等變化ナク、毒力菌接種前ノ免疫元ノ種類如何ニヨリテハ少シモ影響ハ受ケテ居ナイ。

				- 1	第 		2	:	表				
免	海		発 疫	前「ツ」	反他		免	発		免疫後	「ツ	反 應	_
疫	猽番	檢	24 民	手 間	48 時	開	発疫完了	免疫元總量	檢	24 時	間	48 時	間
元	號	査 日	10×舊 「ツ」	對 照	10 > 作	對照	H	Man.	<u>乔</u> 日	10 × 11	對照	10×#	對照
	1	20/XI				_	23/🗷	10×A.T. 2.4cc	28/🞹		1		
A T	2	,,	0.3×0.3			_	,,	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	,,	_			
A.T.	3	.,,		_	_		,,		,,	0.4×0.4		0.2×0.2	
	4	,,			_		,,	,,	,,	= -	_		
	5	,,	0.4×0.3		0.2×0.2		11	**	,,		_		
	6	,,			_	_	,,	2.4mg	**	_	ī —		
	7	,,	_			_	,,	,,	,,	_		_	
Np-s	8	,,	_		_		,,	,,	,,		_		
	9	,,	0.4×0.4		0.3×0.3	_	,,	,,	,,	0.3×0.3	=		
	10	,,	-				,,	,,	,,	0.5×0.5		0.3×0.3	

	11	,,			_	—	,,	,,	,,	_	_	_	1 —
	12	,,	_			_	,,	, ,,	,,		_		
To-s	13	,,	_	_		_	,,	,,	,,				_
	14	,.	_			_	٠,		,,	_		— — — —	
	15	,,		_		_	,,	i	,,	_		_	_
	16	,,	_	_	_		,,	,,,	,,	I		_	
	17	,,	0.5×0.4	0.2×0.2	0.3×0.3	_	,,	,,	,,	0.5×0.5		0.2×0.2	
Ha-s	18	,,					,,	**	,,	_			_
	19	,,			_	_	••	•••			_		_
	20	,,	_				,,	.,	٠,,		_		_
ale l	21	,,	I —	_		_				-		-	·
免	22	,,		_	_	_							
疫	23	,,											
非免疫對照群	24	,,											
群	25												

第四項 毒力菌接種局所皮膚及近接淋巴腺 ノ變化(第3表)

各群、各獸トモニ、コッポ氏ノ現象ハ陰性デァ ル。何レノ免疫元ヲ以テスルモ、潰瘍ノ出現ス ル時期ハ對照群ト同様2週前後デアル。而シテ ソノ大サハ接種後3週ニハ大體0.5×0.5cm 位 トナリ、Ha-stoff 免疫群ヲ除ィテハ全部一様ニ 漸次擴大 シ1.0×1.0cm 前後トナリ、 之ハ剖檢 時迄治癒スルモノヲ見ナィ。 但シ Ha-stoff 発 疫獸ニ於テハ、潰瘍ノ全ク治癒シタルモノ1例 (Nr. 16)アリ、其他ノ例ニ於テモ著シキ冶癒傾 向ヲ證スル事ガ出來タノデアツテ、Nr. 18, Nr. 19 12例ハ痕跡ヲ止ムルニ過 ギナイ。即チ、 Np-、To-stoff 及 A.T. 免疫群ニテハ非處置對 照群ト全ク同様ナル 經過 ヲトリタルニ 反シ、 Ha-stoff 免疫群ニテハ對照群トモ異ナリ父、結 核海猽ニ於ケル再接種ノ所見トモ異ナル結果サ 得タノデアル。

次デ、近接淋巴腺ノ變化ヲ觀察スルー、コノ場合ニモ Ha-stoff 発疫群ノミハ他ノ発疫獸ト多少異ナル所見ヲ得タノデアツテ、Np-, To-stoff 及 A.T. 発疫群ニ於テハ、近接淋巴腺ハ大多數ニ於テ蠶豆大乃至拇指頭大ニ腫脹セルニ反シ、Ha-stoff 発疫獸ニ於テハ蠶豆大ニ至リタル1例(Nr. 20)ヲ除キ、他ハ米粒大乃至豌豆大ノ腫脹ニ止ツタ。何レニシテモ上記皮膚及淋巴腺所見

ョリ觀ズレバ、Ha-stoff 免疫獸ニ、結核感染ニ 對スル抵抗力が或程度存入ル事ュ窺ヒ知ル事が 出來ルト号へル。

第五項 剖檢所見(第4表、附嗣第1)

毒力菌接種 52 日後全例共「クロロホルム」→以 テ死ニ陷ラシメ、内臓ニ於ケル結核性所見→觀 察シタ。

A.T. 疫免群ニ於テハ、肺ニハ全例共結節アリ、 肝ニハ1例(Nr.5)、脾ハ全例多數 / 結節 + 生 ジ、殊ニ Nr. 3、4、5 / 3 例ニテハ强度 / 病髪 サポシタ。

Np-stoff 発疫群ニ 於テ、肺 ニハ 3 例 (Nr. 7, 9, 10) 肝ハ全例トモ病變ヲ認メズ、脾ハ全例ニ 高度ノ結核性病變ヲ證シタ。

To-stoff 発疫群ニ於テハ、肺ニ於テ3例(Nr. 11, 14, 15)、肝ハ2例(Nr. 14, 15)、脾ハ全例トモ多數ノ結節+認メタ。

Ha-stoff 免疫群ニ於テハ、肺、肝共ニ結節形成 ヲ認メタルモノ1 例モナク、脾ニ於テハ僅カー 2 例 (Nr. 19, 20) ニ少數ノ結節散在性ニ存スル ヲ認ムルノミデアル。

對照群ニ於テハ、肺、脾共ニ全例多數ノ結核性 病變ヲ證シ、肝ニハ3例(Nr. 23, 24, 25)ニ結 節存在スルヲ認メタ。

猶、腎臓ニ關シテハ、對照群ニ於ケル1例(Nr. 25) ヲ除キ全例共病變ヲ認メ得ズ、淋巴腺ニ關

3 第 感染局所皮膚 { G · · · · Geschwür K · · · · Kruste N · · · · Narbe 「ッ」 海猽 重 (g) 反 應 摘 體 冤 疫 番 剖檢時 感染時 2 週後 剖檢時 免疫時 感染時 要 號 48 時 間 元 24 時 間 Н 皮淋 300 350 360 # ++ 1 A.T. 皮淋 300 300 400 # + 2 免 皮 3 280 360 340 + + 淋 疫 450 350 ++ 360 ++ 4 淋 群 420 5 300 400 + ++ 淋 皮 __ 6 310 430 430 + ++ 淋 Np-s 370 350 7 320 # ++ 淋 冤 皮 310 450 470 8 ++ ++ 淋 疫 皮 9 290 490 450 ++ ++ 淋 群 皮 300 400 360 + 10 ++ 淋 皮 480 300 11 310 ++ ++ 淋 To-s 皮 490 12 345 510 + ++ 淋 冤 360 360 13 315 + # 淋 狴 皮 370 360 330 ++ ++ 14 淋 群 皮 370 350 15 305 ++ ++ 淋 皮 16 350 470 500 ++ + 淋 Ha-s 450 290 450 ++ 17 ++ 淋 免 皮 500 530 18 360 ++ ++ 淋 挻 皮 19 310 460 420 ++ ++ 淋 群 皮 380 400 300 20 ++ # 淋 皮 320 350 260 ++ # 21 淋 非 皮 22 380 460 400 + + 冤 淋 疫 皮 315 500 510 # 23 ++ 對 淋 照 皮 420 330 430 + 24 ++ 淋 群 皮 __ 25 380 470 450 ++ ++ 淋

表

	表 						
	Ų	近接淋巴腺	+···· 米 粒 +···· 豌 豆		₩・・・蠶 豆		
6 日	10 日	17 日	24 日	31 日	38 日	45 🗄	52 日
	=	K0.4×0.4 +	K0.4×0.4	K0.6×0.6 ++	G0.7×0.7 ₩	K0.7×0.7 ₩	K 0.7×0.7 ₩
		G0.3×0.3	G0.3×0.3	K0.5×0.5 ++	K0.5×0.5 ₩	K0.6×0.6 ₩	K0.6×0.6 ₩
		G0.5×0.5 +	G0.5×0.5 +	G0.7×0.7	K0.8×0.8	K1.0×1.0	K1.0×1.0
	K0.2×0.3	K0.5×0.5 +	K0.5×0.8 +	K0.6×1.0 +	K0.6×1.0	K0.7×1.0	K0.7×1.0
		K0.5×0.5 +	G0.5×0.5	K0.5×0.5 ₩	K0.6×0.6	K0.6×0.6	K0.6×0.6
		K0.4×0.4	K0.8×0.7	K0.8×0.8	K1.0×0.8	K1.0×1.0	K1.0×1.0
	K0.2×0.2 +	K0.4×0.4 +	$G0.5 \times 0.5$	G0.7×0.7 +	K0.7×0.7	++	K1.0×1.0
		G0.4×0.3	G0.5×0.5 +	K1.0×1.0	++	K0.7×0.7	K0.7×0.7
		G0.3×0.3 +	K0.3×0.3 ++	K0.3×0.3 ++	K0.4×0.4 ₩	K0.4×0.4 ₩	K0.4×0.4 ₩
	K0.3×0.3	G0.4×0.5 +	G0.5×0.5 +	+	K0.5×0.5	++	K0.6×0.6 ₩
		G0.3×0.3	60.7×0.5	K0.7×0.7 ++	K0.7×0.7 ₩	##	K1.0×1.0
		K0.3×0.3 +	++	++	K1.0×1.0	++	K1.0×1.0
		K0.4×0.4 +	++	G0.5×0.5	K0.6×0.6 ₩	##	K0.8 ⋅ 0.8
		G0.3×0.3 +	++	K0.4×0.4	K0.4×0.4 ₩	K0.3×0.3 ₩	N0.3×0.3
	K0.3×0.3	60.5×0.5	+	K0.7×0.7 +	K0.7×0.7	K0.7×0.7	K0.9×0.9
		K0.5×0.5	K0.5×0.5 +	K0.3×0.3 +	++	K0.2×0.2	
		G0.3×0.3	+	+	+	K0.6×0.6	++
		K0.4×0.4 +	$60.5 \times 0.5 +$	G0.5×0.5 +	K0.4×0.4	K0.3×0.3	K0.3×0.3
	K0.2×0.2	K0.5×0.5	G0.5×0.5 +	௹ 0.5 ×0 .5 +	K0.3×0.3 +	K0.2×0.2 +	K0.2×0.2 +
		K0.5×0.5 ++	K0.7×0.7	K0.7×0.7	K0.6×0.6 ∰	K0.5×0.5 ₩	K0.5×0.5 ₩
	K0.3×0.2 +	G0.4×0.4 +	G0.5×0.5 +	K0.8×0.8	K0.8×0.8	K1.0×1.0	K1.0×1.0
		K0.6×0.6	K0.6×0.6	G0.7×0.7	K0.7×0.7 ₩	K0.7×0.7	K0.7×0.7
	G0.2×0.2	K0.4×0.4 +	K0.4×0.4	K0.5×0.5	K 0.5×0.5	K0.5×0.5 ₩	K0.5×0.5
		K0.4×0.4 +	G0.5×0.5	K0.7×0.7 ++	K0.7×0.7 ₩	K0.7×0.7	K0.7×0.7
		K0.3×0.3 +	K0.6×0.6 +	K0.6×0.6 +	K0.8×0.8	G1.0×1.0	K1.0×1.0

					第		4		表					
免	海番	性	崩	ī	月	f	J.	ļ.	右		子	<u>-</u>	近接約	林巴腺
疫元	猽號	別	重貨量	病變	重量	病變	重量	病戀	重量	病變		病變	大サ	病變
	1	\$	5		12		0.8	•	2	_	2		##	酪
A.T.	2	\$	4	•	11	_	1.0	•	2		2		###	,,
免	3	\$	3	•	11		1.0	:	2		2	_	##	, ,
疫	4	\$	4	•	11	_	1.2	••	2		2		HH.	,,
群	5	\$	3	••	10	•	1.3	::			2		##	,,
	6	\$	3.5		9		0.5		2	_	2		+++	,,
Np-s	7	\$	3	•	9		0.8	••	2	_	2	_	++	••
免	8	\$	4		13		1.2	••	2	_	2		###	,,
疫	9	\$	4	•	10		1.2	•••	2	_	2.2		+++	,,
群	10	\$	4	••	11		1.5	::	2		2		+++	
Ī	11	\$	3.5	•	13.5		1.3	•	2	_	2			,,
Го-ѕ	12	\$	4		10		1.3	•:	2	_	2		##	,,
免	13	\$	4.5		19	_	1.2	::	2.2	_	2		##	-,,
疫群	14	\$	4	•	13	••	1.5	::	2	_	2.5		###	
石干	15	\$	1	••	17	•	1.5	::	2		2		+++	,,
	16	\$	3.5	_	10	_	1.0		2	_	2	_	H	,,
Ha-s	17	\$	3.5		10	_	1.0		2	_	2	_	++	,.
免	18	\$	4	_	13	_	1.0	_	2	_	2	_	+++	,,
疫群	19	\$	4	_	13	_	1.2	•	2	_	2		++	,,
杆	20	\$	4		14		1.2	•	2		2		##	
非	21	\$	4	•	16	_	1.4	•:	2	_	2		###	,,
免	22	\$	4	•	15	_	1.5	•:	2.5	_	2	_	##	•••
免疫對	23	\$	3.6	•	15	•	1.8	::	2	_	2	_	+++	
照	24	\$	4	••	17	•	2.0	::	2.2		2		+++	,,
群	25	\$	4	••	14	•	2.0	::	2	•	2		##	

シテハ、各群、各獸共乾酪變性ニ陷リタルヲ證 シタレド、腫大ノ程度ニ於テ、Ha-stoff 免疫群 ハ幾分小ナルヲ思ハシメタ。

第三節 本章ノ小括

以上各項ニ於ケル實驗成績ヲ小括スレバ次ノ如[~] クデアル。

各発疫元トモ、とっ健康海復ノ皮下ニ注入シテモ著明ナ局所變化サ來ス事ハナイ。又是等ノ注射ニ依ツテ動物ニ「ツベルクリン・アレルギー」
ヲ賦與セシムル事ハ出來ナイ。然シ是等ノ動物モ毒力菌ノ接種ニ依リテハ約2週後ニハ「ツ」反應陽性トナル。而シテ、ソノ後ノ「ツ」反應ノ狀態ハ剖檢時迄、発疫元前處置ノ如何ニハ少シモ影響サレテキナイ。即チ発疫元ノ種類ニヨリ

「ツ」反應ノ動搖ハ認メラレヌ。

體重ノ變化ニ關シテ発疫元ノ種類如何ニョル影響ハナイ。然シ毒力菌接種ニョリテハ一般ニ體重ノ減少が認メラレルが、Ha-stoff 発疫群ニ於テハ體重ノ増加ヲ證スル事が出來タ。

毒力菌接種局所皮膚ハ、Ha-stoff 免疫群ニ於テハ、他群ト同様ニ接種後2週前後ニ潰瘍ラ生ズルニ至ツタガ、ソレ以後ハ漸次治癒傾向ラ示シ、全治スルモノスラ認メラレタ。然シ、他ノ4群ニ於テハ漸次擴大シ治癒ラ示スモノハ全ク認メ

ラレナカツタ。

近接淋巴腺モ、Ha-stoff 免疫群ハ、Np-, To-stoff, A.T. 免疫群ニ 比シ、淋巴腺ノ 腫大度ハ 小サイ。 毒力菌接種 52 日後ノ剖見所見ニョリ、Ha-stoff 発疫群ハ瞭ニ結核感染ニ對シ抵抗ラデシ、內臓 各臓器ノ病變ハ他群ニ比シ著シク僅少デアル。

第二章 「ツベルクリン」劃分、加熱死菌、燐脂質及 BCG 等ニヨル 感染防禦力比較實驗

前章ニ述ベタル實驗ニ依り「ツベルクリン」割分中、Ha-stoff が或程度ノ発疫力ヲ有スル事ヲ知リ得タノデアルガ、本實驗ニ於テハ、實驗動物數ヲ増加シテ前實驗ノ成績ヲ確ムルト共ニ、加

熱死菌及之ニ Ha-stoff ヲ加ヘタルモノ、燐脂質及之ニ Ha-stoff ヲ加ヘタルモノ、竝ニ BCG ヲ以テ発疫元トシ、「ツベルクリン」劃分ト共ニ感染防禦力ヲ比較セント試ミタモノデアル。

第一節 實驗方法

第一項 供試酬 300-400 gr ノ健康雄性海**復** 100 正ヲ使用シ、1群 10 正宛トシ 10 群ニ分ツ。

第1群 舊「ツ」免疫群。第2群 Np-stoff 免疫群。 第3群 To-stoff 免疫群。第4群 Ha-stoff 免疫群。 第5群 憐脂質免疫群,第6群 燐脂質+Ha-stoff免疫群。 疫群。第7群 BCG 免疫群。第8群 加熱死菌免疫 群。第9群 死菌+Ha-stoff 免疫群。第10群 無處 置對照群。

第二項 免疫元 質ッ」、Np-stoff, To-stoff, Ha-stoff ニ就テハ前章ニ述ベタルヲ以テ略ス。燐脂質ハ乾燥結 核死菌末ヨリ戸田氏法ニヨリ 抽出 サレタルモノヲ使 用ス。而シテ本物質ハ水ニ不溶性ナルヲ以テ、一定量 ヲ秤量シタル後、適量ノ「エーテル」ニ溶解セシメ、之 ニ所要量ノ生理的食鹽水ヲ加へ、强ク振盪シ、更ニ之 ヲ溫湯中ニテ 絶エズ 振盪 シナガラ「エーテル」ヲ驅出 スル。カクテ得タル白色溷濁液ヲ注射用ニ供シタ。燐 脂質ニ Ha-stoff ヲ加ヘル場合ハ、豫メ Ha-stoff ノ所 要量ヲ生理的食鹽水ニ溶解シ置き、燐脂質ヲ溶解セル 「エーテル」中ニ加ヘテ、 前記ノ如ク 處置スル。BCG 教室保存 / Petragnani 培地約3週培養ノモノヲ使用 シ、之ヲ生理的食鹽水ニテ平等ナル浮游液トシタル後 注射ス。加熱死菌 ハ人型結核菌 Frankfurt 株 Petragnani 氏培地約1ヶ月培養ノモノヲ秤量シ、生理的 食鹽水ニテ平等ナル浮游液トシ、之ヲ1時間100度ニ 熱シテ殺菌シタルモノヲ用ヒ、Ha-stoff ヲ加ヘル場合 ハ、ソノ所要量ヲコノ 浮游液ニ溶解セシメテ 使用シ B.

第三項 免疫方法及ビ免疫期間(第5、6、7表)

第1群ニハ傳研製奮「ツ」ノ生理的食鹽水10倍稀釋液 ヲ 0.5—0.7—0.9—1.2—1.5 ccm ノ順=増量シ3日目毎=皮下=注入ス。第2,3,4,5 群ニハ Np-, To-. Ha-stoff 及憐脂質 ヲ 夫々 0.5—0.7—0.9—1.2—1.5 mg 宛漸次増量シテ3日目毎=皮下=注射ス。而シテ1 正ニッキ 0.2 cm ノ生理的食鹽水ニ 上記量 ヲ溶解シテ用つ。第6 群ニハ燐脂質及 Ha-stoff ヲ上記量宛第二項ニ述ベタル如ク溶解シ、漸次増量シテ皮下=注入ス。第8 群ニハ各海猽共 1—1—2—2—4 mg 宛前項ニ記シタル如ク製シタ加熱死菌ヲ 0.2 ccm ノ生理的食鹽水ニ含ム如クーシテ注射ス。第9 群ニハ前記死菌ニ Ha-stoff ヲ 0.5—0.7—0.9—1.2—1.5 mg 宛毎回加へ、之ヲ以テ発疫ス。第7群ハ、BCG 1 正當リ1 mgヲ生理的食鹽水浮游液トシ、他群ノ第1回免疫時ト同時ニ皮下注射ス。

第四項 感染法 Frankfurt 株人型結核菌 Petragnani 氏培地約1ヶ月培養 ノモノヲ 生理的食鹽水 0.2 ccm = ½1000 mg 宛含ム様ニ菌浮游液ヲ 作リ之ヲ第1,2,3,4,5,6,8,9 群ノ各獸ニ免疫終了後6日目ニ、第7群ニ於テハ BCG 處置後16日目ニ、第10群ニ於テモ、同日ニ下腹部皮下ニ注入ス。即チ各獸ノ毒力菌接種量ハ ⅓1000 mg 宛デアル。

第五項 觀 察

- 1. 免疫元注入局所ノ變化。
- 2. 免疫前後並ニ毒力菌接種後 ニ於 ケル「ツ」皮內反 應 / 検査。

- 3. 免疫前ョリ剖檢時迄ノ體重ノ變化。
- 4. 毒力菌接種局所皮膚及近接淋巴腺ノ變化。

5. 剖檢及一部臟器ノ組織學的檢索。

第二節 實驗成績

第一項 免疫元注入局所ノ變化

(第5、6、7表)

第1,2,3,4群ニ於テハ注射局所ニハ何等特異 ナル變化ヲ見ナイ。とハ前章ニ述ベタル實驗ト 同樣ナル結果ヲ得テ居ル。第5群ニ於テハ、全 例ニ硬結、潰瘍、或ハ痂皮ノ形成ヲ認メタ。即 チ硬結ヲ生ゼルモノ5例(Nr. 159, 160, 161, 164, 165)、潰瘍ヲ認メシモノ2例(Nr. 156, 157)、痂皮ヲ形成セルモノ3例(Nr. 158, 162, 163) デアル。第6群ニ於テモ殆ンド前群同樣デアツテ、硬結形成5例(Nr. 166, 168, 169, 170, 175)、潰瘍ヲ生ゼシモノ3例(Nr. 167,

第5表 免疫元注入方法•量及注入後局所變化(1)

			第5	- X 76/X	元注入方			変化(* /		1 200	
群	海番	性	體			t入囘數、			硬	潰	痂
別	猽號	別	重	第1回 21/IV	第2回 24/IV	第3回 27/IV	第4回 30/IV	第5回 3/V	結	瘍	皮
	30	\$	340	10×A.T. 0.5cc	10×A.T. 0.7cc	10×A.T. 0.9aa	10×A.T.	10×A.T.	_		
A.T.	31	\$	390	,,	.,,			,,			
	39	\$	320	,,	,,	,,	,,	,,			_
免	40	\$	360	,,	,,	,,	,,	,,			
	44	\$	320	,,	,,	,,	,,	,,	_	_	_
疫	46	\$	360	,,	,,	,,	,,	,,	_	_	_
	47	\$	300	,,	,,	,,	,,	,,	_	_	_
群	48	?	310	,,	,,	,,	,,	,,	_	_	_
	50	\$	330	,,	.,	,,	1 ,,	,,	_		_
	52	\$	380	,,	,,	,,	•••	,,		_	
	53	\$	300	0.5mg	0.7mg	0.9mg	1.2mg	1.5mg	_		
Np-s	54	\$	350	,,	,,	,,	.,	,,	_	_	-
- · F -	55	\$	320	,,	,.	,,	,,	,,	_	_	_
免	29	\$	320	••	,,	,,	,,	,,	_	_	_
,,	59	\$	400	,,	,,	,,	,,	,,	_	_	_
疫	66	\$	320	••	,,	,,	,,	,,	_	_	_
~	67	\$	320		,,	,,	,,	,,	_	_	_
群	68	\$	410	,,	,,	,,	.,	,,	_	_	_
44T	90	\$	350	,,	**	.,,	,,	,,	_	_	_
	95	平	390	,,	,,	,,	,,	,,			_
	96	\$	400	0.5mg	0.7mg	0.9mg	1.2mg	1.5mg	_	-	
Го-ѕ	97	<u></u>	380	,,	,,	**	,,	,,	_	_	_
	99	\$	350	,,	,,	,,	,.	,,	_	_	-
免	100	\$	320	.,	••	,,	,,	,,	_		_
元	1	\$	340	•	,,	,,	,,	,,		_	_
疫	7	\$	390	,,	,,	,,	,,	,,	_	_	_
192	8	\$	320		,,	,,	••	,,		_	_
群	9	\$	400	,,	,,	,,	,,	.,	_	_	_
和十	28	\$	300		,,	.,	,,	,,	_	_	_
ļ	74	\$	370		,,						_

第6表 免疫元注入方法、量及注入後/局所變化(2)

			я∙v	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 177 124		,,,,,	// 变"化(~)			
群	海番	性	體		免疫元法	入囘數、	量及月日		硬	谱	痂
別	猽號	別	重	第1回 21/IV	第2回 24/IV	第3回 27/IV	第4回 30/IV	第5回 3/V	結	瘍	皮
	131	\$	380	0.5mg	U.7mg	0.9mg	1.2mg	1.5mg	_		_
Ha-s	132	\$	340	,,	,,		,,	,,	-	_	_
	133	\$	320	,,	,,	,,	,,	,,			_
免	139	\$	350	••	,,	••	,,	,,	_	_	_
	141	\$	350		••	,,	,,	••	_		_
疫	142	\$	310	,,	**	,,	,,	••	_		_
~	143	\$	330	,,	,,	,,	••	,,	_		-
群	149	\$	320	,,	••	,,	,,	,,	_	_	_
4417	150	\$	300	,,	,,	,,	,,	,,		_	_
	155	\$	370	,,	,,	,,	,,	,, ;	_	_	_
	156	\$	380	0.5mg	0.7mg	0.9mg	1.2mg	1.5mg	_	+	_
	157	우	320	,,	,,	,,	,,	,,	_	+	_
燐	158	\$	310	,,	,,	,,	,,	,,	_	_	+
脂	159	\$	320	,,	,,	,,		٠,	+	_	_
質	160	\$	350	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	_
免	161	Ş	325	,,	,,	,,		,,	+	_	_
疫	163	\$	310	,,	1,	,,	`,,	.,	_	_	+
群	164	\$	300	,, ,	,,	,,	,,	,,	+	_	_
	165	\$	310	,,	,,	,,	.,	,,	+	_	_
	162	\$	310	,,	,,	,,	,,		_	_	+
	166	\$	320	各 々 0.5mg宛		各 々 0.9mg宛	各 々 1.2mg宛	各 々 1.5mg宛	+	-	_
燐	167	\$	300	,,	,,	,,	,,	٠,		+	_
脂	168	\$	330	,,	,,	••	,,		+	_	_
質	169	\$	350	,,	,,	.,	,,	,,	+	_	_
+	170	\$	310	••	••	,,	.,	,,	+	_	_
Ha-s	171		320	,,		,,	,,		_	_	+
免	172	\$	300	,,	,,	,,	,,	,,	_	+	-
疫	173	\$	310	,, ۱	,,	••		,,		_	+
群	174	\$	350	,,	,,		,,	,,		+	_
L	175	\$	300	,,	,,	,,	,,	,.	+	_	_

第7表 免疫元注入方法、量及注入後>局所變化(3)

群	海番	性	體		免疫元注》	入囘數、	量及月日		硬	潰	痂
別	猽號	別	重	第1回 21/IV	第2回 24/IV	第3回 27/IV	第4回 30/IV	第5回 3/₹	絽	瘍	皮
	176	\$	340	1 mg					+	_	
В	179	\$	340	,,					+	_	
всс	180	\$	310	.:					+	_	
	181	\$	300	,,	-				+	_	_
免	183	\$	320	•••					+		
	184	\$	310	,,					+		_
疫	185	\$	300	,,					+		_

群	187	\$	300	,,					+		
147	188	\$	310	,,					+	_	_
	189	\$	320	,,		i			+	-	_
	190	\$	310	0.5mg	0.7mg	0.9mg	1.2mg	1.5mg	+		
ba	191	\$	300	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	
熱	192	\$	360	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	_
死	193	\$	300	,,	,,	••	,,	,,	+	_	_
菌	195	\$	300	,,	,,	,,	,,	,,		_	+
免	198	\$	370	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	
疫	196	\$	300	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	
群	199	\$	300	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	_
/#T	200	\$	330	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	-
	295	\$	360	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	
	186	\$	330	各 々 0.5mg	各 々 0.7mg	各 々 0.9mg	各 々 1.2mg	各 々 1.5mg	+	_	-
bu	177	\$	365	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	_
	178	\$	290	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	_
熱	296	\$	290	,,	,,	,,	,,	,,	_	_	+
	298	\$	320	,,	,,	,,	,,	,,	_		+
Ha-s 弦	11	\$	250	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	-
発 変 群	12	\$	230	,,	,,	,,	,,	,,	+		_
群	13	\$	245	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	_
	14	<u></u>	255	,,	,,	,,	,,	,,	+		_
	15	\$	255	,,	,,	,,	,,	,,	+	_	_

172,174) 痂皮ヲ作リシモノ2例(Nr. 171, 173) デアル。第7群ニ於テハ、全例トモ硬結ヲ残シタレド、潰瘍或ハ痂皮ヲ認メタルモノ1例モナク第8群ニ於テハ、 痂皮ヲ形成シタル1例 (Nr. 195)ヲ除キ、他ハ何レモ硬結ヲ残シ、第9群ニテハ2例ニ於テ(Nr. 296, 298)痂皮ヲ認メタレド、他ハ何レモ硬結ヲ生ゼルヲ見タ。即チ第1、2、3、4群ヲ除キ他ハ何レモ多少ナリトモ局所變化ヲ供フヲ認メタ。

第二項 免疫前後及毒力菌接種後 /

「ツ」皮内反應(第8、9、10表)

第1,2,3,4群ニ於テハ、全例トモ免疫後「ツ」 反應ノ陽性化セルモノハ認メラレナイ。第5,6群ニ於テモ同樣ニ、大部分ハ「ツ」反應ノ陽性 化ヲ認メナカツタガ、第5群ノ2例(Nr.163,164)、第6群ノ2例(Nr.168,170)ニ於テ弱度 ノ「ツ」皮内反應ガ現レタ。然シ大體ニ於テ、燐 脂質ノミーテハ勿論、コレニ Ha-stoff ヲ加ヘ タルモノヲ以テシテモ「アレルギー」ヲ發現セシ ムル事ハ無キモノト 考ヘラレル。第7,8,9群ニ於テハ各獸トモ、発疫後「ツ」皮內反應ハ陽性ニ轉化シタ。而シテ BCG ヲ以テシテモ、死菌ノミ、或ハ之ニ Ha-stoff ヲ加ヘテ発疫シテモ「ツ」反應ノ程度ニハ何等認ムベキ差異ハ認メラレナカツタ。

獅、毒力菌接種後2週及剖檢前 ニ、全例 トモ「ツ」反應ヲ檢シタノデアルガ、免疫元ノ種類ニョリ「ツ」反應ノ動搖乃至ハ著明ナル差異ハ證セラレナイ。

第三項 體重ノ變化ニ就テ(第11表)

発疫前後ニ於ケル各獣ノ體重ヲ通覽スルニ、全 例可成ノ増加ヲ認メタノデアルガ、殊ニ燐脂質 及燐脂質+Ha-stoff発疫群ニ於テハ著シキ體重 増加ナ示シタ。

毒力菌接種1週後ニ於テ、第5,6群ニ於テハー 時體重ノ減少サ示シタガ、再ビ増加ノ傾向サ示シ、終始體重ノ増加 + 認メタノハ BCG 発疫群 ノミデアツテ、殘餘ノ発疫獣ニアツテハ増減相

第8表 免疫元注入前後ノ海獏「ツベルクリン」皮内反應(1)

群	海		免疫	前「ツ」)	反應		免疫	免损		免 疫	後「ツ」	反應	
罗叮	須 番號	檢 查 H	24 B	手 間 對 照	48 時 10×舊	間對照	免疫完了日	免疫元總量	檢 査 日	10×化	寺 間 野 照	48 時 10×舊	門對照
33		19/IV	「ツ」	到別用	Гу	到明代	3/₹	1.8cc	6/₹	T	: 對 照		24 88
	$\frac{30}{31}$.,				-		l		0.4×0.3	0.2×0.3		_
A.T.	$\frac{-31}{39}$		0.3×0.3						,,	0.4 × 0.3	0.2 × 0.2	<u> </u>	-
	40					-	-,,				<u> </u>		
免	44						,,	,,	,,	0.2×0.2	_	0.2×0.2	
	46					_	-,,			0.2 × 0.2			-
奖	$-\frac{10}{47}$		0.3×0.3	0.2×0.2		_	-,,	;	**				
- NE	48					_		,,	,,				_
群	50	,,				_			,,				
	52	,,				_	-,,	,,	-,,				
	53	,,	0.4×0.4	0.2×0.2	0.3×0.3	1-	,,	4.8mg				_	í –
Np-s	54	11					,,	,,	,,				_
1	55	**				_	,,	,,	,,	0.5×0.5		0.2×0.2	
免	_29	,,				\equiv	,,	,,	,,		_	_	_
	59	,,				_	,,	,,	,,				_
疫	- 66	,,				_	,,	,,	,,	_			_
	67	,,				_	,,	,,	,,				_
群	68	,,					.,,		,,				
	90	-,,					• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		-,,				
	95 96	-,,				<u> </u>	•••	,,	,,			<u> </u>	
	97												
To-s	99	,, ,,											
	100												
免	1	-,,					"		-,,				_
1/10	7	-,,											
变.	8	-,,				_		-,,					_
#¥	9	,,					,,						
群	28		0.3×0.3					-,,					
	74	-,,		_			,,						

第9表 免疫元注入前後ノ海猽「ツベルクリン」皮内反應(2)

群	海		免疫前	う「ツ」 反	應	1	免	免		免疫征	爰「ツ」 ル	E MO.	
813	須番 號	檢 查 日	24 展 10×焦 「ツ」	手 間 對 照	48 時 10×萬	間對照	免疫完了日	免疫元總量	檢 查 日	24 日 10×舊	基 間	48 時 10×舊	
	131	19/17	-			$\overline{ - }$	3/₹	4.8mg	6/₹		<u> </u>		
Ha-s	132	,,					,,	,,	,,	_	_		
	133	,,		_		_	,,	,,	,,				
免	139	,,	0.1×0.3	0.2×0.2			,,	,,	,,				
1 ~	141	,,	_	_			,,	,,	,,		_	_	

瘦	142	,,				_	,,	,,	,,				
~	143	,,	0.2×0.2		0.2×0.2	_	,,	,,	,,				_
群	149	,,	_	_			,,	,,	,,				
"'	150	,,	-	_			,,	,,					_
	155	,,		_		_	,,	,,	,,			<u> </u>	_
	156	,,	- :					,,	,,	0.4×0.4		0.2×0.2	-
	157	,,	!		_	_	,,	,,	,,	_			_
燐	158	,,			_	_	,,	,,	,,	0.6×0.6	0.2×0.2	0.3×0.3	
脂	159	,,			_	_	,,	,,	,,				_
質	160	,,			· —		"	,,	, ,,	_	_	_	_
免	161	,,					,,	,,	,,	0.5×0.5		0.3×0.2	
疫	163	,,			_		,,	,,	,,	0.9×0.9	_	0.6×0.6	_
群	164	,,			_	_	,,	,,	,,	1.0×1.0	_	0.7×0.7	_
	165	,,	I			_	,,	,,	,,	_		, –	_
	162	,,				_	,,	,,	,,	0.3×0.3		<u> </u>	
	166	,,					,,		,,	0.3×0.3			
	167	,,	0.3×0.3				,,	,,	,,				
燐	168	,,			_	_	,,	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	,,	0.7×0.7		0.5×0.5	
脂質	169	11	_				,,	,,	,,	0.3×0.4	_	0.2×0.2	_
+	170	,,			_	_	•••	,,	,,	1.2×1.2		0.8×0.8	_
Ha-s	171	,,					,,	,,	,,		_		
免疫群	172	,,			; —	_	,,	,,	,,,			_	
群	173	,,	- !			_	,,	,,	,,	0.5×0.5		0.3×0.3	_
i i	174	,,		_	. —		,,	,,	,,	0.4×0.4	_	_	_
L	175	,,	, - 1			_	-,,	,,	,,	I —			. —

第 10 表 免疫元注入前後ノ海猽「ツベルクリン」皮內反應(3)

群	海		免疫前	前「ツ」 反	應		免	免		免 疫 後「ツ」反 應	
別	復番號	檢 查 日	24 民 10×舊 「ツ」	连 間 對 照	10 v 75	間對照	免疫完了日	免疫元總量	檢 查 日	24 時 間 48 時 間 10×在 對 照 「ッ」 對 照 「ッ」 對 !!	艀
	176	19/IV		-		1-1	3/7	4.8mg	6/₹	$ 1.0 \times 1.0 $ - $ 1.5 \times 1.5 $ -	-1
	179	,,	_				,,	,,	,,	0.6×0.6 - 0.6×0.6 -	-
BCG	180	,,				-	,,	,,	,,	$0.7 \times 0.7 0.2 \times 0.2 0.8 \times 0.8 -$	-
免	181	,,		_		1	,,	,,	,,	0.5×0.5 — 0.4×0.4 —	-1
ي د	183	,,	0.4×0.4	0.2×0.2			,,	,,	,,	1.0×1.0 — 1.2×1.2 —	-
疫	184	,,	_			-	,,	,,	,,	1.2×1.2 - 1.5×1.5 -	-
~	185	,,		_		-	,,	,,	,,	0.5×0.5 — 0.7×0.7 —	-
群	187	,,		_	_	-	,,	,,	,,	0.8×0.8 — 1.0×1.0 —	-
**	188	,,		_			,,	,,	,,	0.3×0.3 — 0.5×0.5 —	-
	189	,,				_	,,	,,	,,	$ 1.5 \times 1.5 $ - $ 2.0 \times 2.0 $ -	-
	190	-,,					,,	,,	.,,	1.0×1.0 — $ 1.5 \times 1.5 $ —	-
ba	191	,,				_	,,	,,	,,	0.4×0.4 — 0.4×0.4 —	-
熱	192	,,			_	_	••	,,	,,	1.2×1.2 $ 1.5 \times 1.5$ $\dot{-}$	-
死	193	,,					,,	٠,	,,	0.6×0.6 — 0.5×0.5 —	-
"	195	,,				_	,,	,,	,,	1.0×1.0 - 1.4×1.4 -	-1

南	198	,,	0.3×0.3		0.3×0.2	_	,,	,,	,,	0.5×0.6	_	
免	196	,,	-			_	,,		,,	0.5×0.5		0.3×0.5 —
疫	199	,,		_	_		,,	,,	,,	$0.5{ imes}0.5$	_	0.5×0.5 —
群	200	.,				_	,,	,,	,,	0.6×0.6		1.0×1.0 —
	295	,,		_			,,	,,,	.,	1.0×1.0	_	1.3×1.3 —
1	186	,,					,,		,,	0.5×0.5		0.3×0.3 —
400	177	**	0.3×0.3				,,	,,	,,	0.8×0.8	-	1.4×1.4 —
熱	178	,,			<u> </u>		,,	,,	,,	$0.5{ imes}0.5$	_	0.6×0.6 —
死	296	,,			_		,,	,,	-,,	$0.4{\times}0.4$		0.5×0.5 —
加熱死菌十	298					_	,,	,,	,,	0.5×0.5	_	0.5×0.5 —
Ha-s	11	,,		_			,,	,,	,,	0.5×0.6	_	1.0×1.0 —
免疫群	12	,,			_	_	,,	,,	,,	0.8×0.8	_	1.0×1.0 —
群	13	,,		_		_	,,	,,	,,	1.0×1.0		1.2×1.2 —
1	14	,,			_	_	,,	,,	,,	1.0×1.0		1.5×1.5 —
	15	,,		_		_	,,	,,	,,	0.5×0.6	_	0.6×0.6 —
	1	,,			_							
	2	,,			_	_						
非	3	,,	<u> </u>		_	_						
免	4	,,	0.4×0.4		0.2×0.2	_						
疫	5	,,		_		_						
群	6	,,				_						
對	7	,,		_								
照	8	,,				_						
	9	,,				_						
	10	,,	0.3×0.3			_						

第 11 表 體重ノ變化(平均瓦)

摘要 群別	免疫時	增 減	生 荫 悠染時	增減	1 週後	增減	2 週後	增減	3 週後	增減	5 週後	增減	剖檢時
A.T. 免疫群	341	+ 43		+29	413	-21	392	+54	446	— 19	427	- 1	426
Np·s 免疫群	348	+ 47	401	+ 9	410	-26	384	+43	427	- 6	421	-18	403
To-s 免疫群	357	+ 29	386	+20	406	-42	364	+54	418	-14	404	-15	389
Ha-s 免疫群	337	+ 33	369	+27	396	-29	367	+67.5	434.5	-20.5	414	- 9	405
Phosphatid 免 疫 群	323.5	+113.5	437	-34.5	402.5	+7.5	410	+38	448	– 1.5	446.5	+11.5	458
Phosph+ Has 免疫群	319	+ 94	413	-28	385	+12	397	+29.5	426.5	+11	437.5	+ 0.5	438
BCG 免疫群	315	+ 41	356	+16	372	+19	391	+43	434	+10	444	+ 6	450
死菌免疫群	323	+ 29	352	+29	381	- 7	374	+46	420	-15	405	- 5	400
死菌+Ha-s 免 疫 群	283	+ 38	321	+30	351	+13	364	+33	397	+ 6	403	+ 4	407
非免疫群 (對 照)	247	+ 88	335	+32	367	— 19	348	- 46	394	- 2	392	-10	382

錯綜シテ、特異ナル點コ認メ難イガ、一般的ニ 觀テ BCG 発疫群ハ勿論、第 4, 5, 6, 8, 9 群ハ 本實驗ニ於テハ、毒力菌接種ハ皮下ニ行ヒ、而 他ニ比シ多少増加率ハ多キモノ、如クデアル。

第四項 毒力菌接種局所皮膚及近接淋巴腺

ノ變化(第12、13、14表)

モ極微量即チ 1/1000 mg ヲ接種 シタモノナルヨ リシテ「ツベルクリン・アレルギー」狀態ナリシ

第12 表 感染局所所見(1)

	_	一個	(al		Δ. «	₩	堙			<u>۳</u>	Rötung	Rötung TTumor	mor		*	بد بد		1 d &	
東談弟	T		n`		<u> </u>	20		Įį.	感染局所皮膚	الحاق	-Geschwür -Kruste		差	三 数 三	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	似五人人	: : : : ‡ ≢	#過 克 火 #拇指頭大	
技時	اجور فيور	発性	後世	非常	週後	復活	歐	24時間	24時間 48時間	4 H	7 B	17 В	27 11	37 В	47		57 П	- 67	
30 3	340	0 300	320		+	+	皮淋		11	1 1		T0.4×0.4 +	T0.4×0.4T0.4×0.5 T0.5×0.5T0.5×0.5 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	T0.5×0.	5 T 0.5	5×0.5 A	0×9.01 +	A0.6×0.6 K0.4×0.4 ++ ##	×0×+
31 3	390	0 400	380	1	+	+	-	1 1	11	11	1!	T0.4×0.4 +	T0.5×0.5 +	T0.5×0.5	5 A0.7	A0.7×0.7 G	G0.3×0.3	.3 K0.5×0.5	× 0.5
39_	320	0 380	470	ı	+	+		11	11		•	T0.3×0.3 +	K0.2×0.2 ++	G0.2×0.2 ++	2 KO.3	K0.3×0.3 K #	K0.4×0.4	.4 K0.4×0.5	× 0.5
F. 0	360	0 430	230	1	+	#			11			T0.4×0.4 +	T0.5×0.5	T0.6×0 6	6 A 0.6	A0.6×0.6 A	A0.6×0.6	Α0.	6×0.6
7	350	0 380	450		+	+		1!	11		1 1	T0.5×0.5 +	T0.5×0.5 ++	G0.3×0.3 K0.1×0.4 G0.4×0.4	3 K 0. 1	1×0×4 1×0×4	.0.4×0 ≢	05	.5×0.5
	360	0 400	520		+	+		11	11	1 1	1 1		$70.2 \times 0.2 + $	T0.5×0.5 T0.6×0.6 ++ ++	5 T 0.6	6×0×6 ++	T0.6×0.6 ++	.6 A0.6×0.6	×0.6
47	300	0 350	430	1	+	+		11	11	11	1 1	T0.3×0.3 +	T0.3×0.3 T0.4×0.4 + ++	T0.5×0.5 ++	5 K0.3	K0.3×0.3 K	K0.3×0.3 ++	.3 G0.5×0.5 ++	× 0.5
84	310	0 400	290	1	١	+	•	1 1	11	11			+	+	T0.3	T0.3×0.3 T	T0.5×0.5	Т0.	5×0.5
50	330	350	420	1	#	+	-			1 1		T0.2×0.2 +	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	T0.6×0.	6 K0.2	×0.2 K	(0.4×0	4 K0.6	×0.6
52 3	380) 450	450	ı	+	+	,	11			11	K0.2×0.2 K0.3×0.3 G0.3×0.3 K0.3×0.3 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	K0.3×0.3	G0.3×0.	3 K0.3	3×0.3 K	K0.3×0.3	.3 G0.4×0.4	× 0.4
53 3	300	340	410	ı	+	#		1 1	11	1		$70.3\times0.370.3\times0.370.5\times0.5$ 60.3×0.3 60.4×0.4 60.4×0.4 60.4×0.4 60.4×0.4 60.4×0.4	T0.3×0.3	T0.5×0.	5 K0.3	1×0.3K	0.4×0 ≢	4 K0.4	4×0×≢
54 3	350	370	370	ı	#	+	6	1.1		11	1 1	T0 3×0.3	T ^{0.4×0.4} +	T0.6×0.6 +	6 A 0.6	1×0.6A	$A0.6\times0.6$ $A0.6\times0.6$ + +	.6 A0.6×0.6 +	×0.6
55 3	320	350	360	1	+	+		1 i	11		11	T0.4×0.4	T0.5×0.4 T0.6×0.6	T0.6×0.	6 K 0.2	K0.2×0.2 K	K0.4×0.4	К0.	4×0.4
29 3	320	400	400	1	1	+	2	1 i	11		1 1	T0.5×0.5 +	T0.5×0.5 T0.7×0.7 + + ++	T0.7×0.	7 A0.7	7×0.7 K	A0.7×0.7 K0.3×0.3 ++ ##	G0.	5×0.5
59 4	400	440	420	1	+	+		l i		1 1	l i	T0.5×0.5	T0.5×0 6 T0.7×0.7 + + +	T0.7×0.	7 A 0.7	A0.7×0.7 G	.0.4×0 ≢	$G0.4\times0.4$ $G0.6\times0.6$	9.0×9 #
99	320	350	340	ı	1	+		1	11	1	[]	T0.3×0.3 +	T0.5×0.5 +	K0.3×0.3 ++	3G1 0	0×1.0 10×1	‡	G1 0×1.0 G1.0×1.0 K1.0×1.0 ++ ++	0×1.0
67 3	320	400	370	ı	+	+	:	11		11	11	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	T0.4×0.4	T0.6×0.	6 A 0.8	×0.8K	0.3×0 +	3K0.5	× 0.5

+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	4	4	က	1	4	.00	· - (-	က	. 9	4	₹	9	r::
	0.	0.	0	0	0.	0	j 0	e.	0	0.	0	0.	, c
	\ 4 ≢	4 ≢	≢ & ≢	*	<u> </u>	i∝ ≢	` ‡	× ±	1& ±	\ \ 4+	4 ≢	≢ ۋ±	± &ا
	0	0	0	0	<u>.</u>	O.	C	c	c	o.	c	C	Ċ.
	X	天	18	<u>¥</u>	<u> </u>	150	17	<u> </u>	X	19	19		<u> </u>
	0.	0	0	0.0	0.	0	0.4	0	0	0.7	0.4	0.	0
	×=	×+	+ × =	×+	×±	×±	×+	×+	×+	××	×±	X+	×+
	4.4	7.7	+ 6.+) +	7.	155 +	<u>~</u> ,	.7	10.		4.	χ. +	
	G I	×	\simeq	\	A	G	Ü	A	12	Ğ	2	\leq	≥
	2.	4.	.2	(ဗ	က	r:	1.5	9.	7.	9.	1.	x	4.
		X T	_ × .	× .	0 .	× ×	0 x .	O .	2 .	× .	C .	X.	C X
	≈∓	₹ ∓	± % ±	ဗ ∓	ت. ±	ેણે ≢	<u> </u> 6;∓	(G) +	15.7	6 +	5.7	€ ∓	4. ‡
	05	30	10	0.1	0.1	0.	2	04	10	0	0	0	0.
	2	<u>ش</u>	~~~	r.c	4	<u></u>	2	9	12	22	4	7	3.
	0	Ċ.	0.	0	0	0	0	0	o.	0	o.	Ċ.	0
	\&\ \	± %	# 12 #	± 2	* ‡	× ±	+ يا	<u>ا</u> ش+	× ±	K I	¦ ` +	[×+	1××
	0	c.	0.	0	0.	0	0	Ġ	0	c	C	0	0
	10	. <u>'</u> =-		=	<u> </u>	<u>'</u>	1 (-		[-		1 —	<u> </u>	×
	0.5	0.4	1.6	 	6.3	<u>1</u> .	0.3	5.	.5	.5	4.	7.	0.5
	×+	×+	+ ×_+	×+	×т	×+	×,	$ x_{\perp} $	×,	×,	×,	×,	ĺХŢ
	1.5	4. +	+ -	6.3	.33	, 7 . +	E. 1	4. 1	5.	.5	4.		.5.
) <u>L</u>	T(L)	L	T(Ĺ	1.0	L	1	T.0	T (L _O	T.0
	4.	£.	ů.		, i	<u>w</u>	1	4.	. س <u>.</u>	<u>ن</u>	1	4.	33
	0	C ×	. 0		0 ×	0	١	0 >	0 >	0 ×		0	¢0
	4+	ლ +	+ က်	+	8	14+	'	+	ကြ	က်		÷	ĉ +
	0	0	2		0.	0		Ġ.	0	,0		Ċ	Ç
	1 1		1			ļ- <u>-</u> -					<u> </u>		
			İ										
	1 1	111	1111			111	111			1 1	11	111	111
	1 1											' '	
	! !												
			1 1										
	1111	111	1111	11	1.1		11	1.1	111	11	1.1	111	1 1
	1 ' ' [٠ . ا	. [, ,]		' '	' '	' '		' '	' '	, , ,	' '	i ' '
												1	
	11												
+		111	1 1 1										
+	 												
+	1111	11	1 1 1 1	111	1 1	1.1	1 1	1.1	1 1	1 1	1.1	1.1	1 1
+ ± + + + + ± ± ± + +	' '	' '	' ''		1 1	1 1	1 1	!!!	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
+ ± + + + + ± ± ± + +	i i		i	T									
+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +								-	-	:	-	•	
+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	+	±	: +	+	+	+	+	+	+	+	4	4	+
										'		1	
	+	#	: +	+	+	#	+	#	1		#	+	+
	1 .												
	1	1	1	1	1		١	1		1	1	- 1	1
	2	98		00	9	06	ຂ		_	8		-0	-g-
		'		4	4	35	33	45	44	35	8	32	360
510 400 500 500 500 500 450 450 420 420 450 3300 3300	510	001	22	8	20	70	20	00	20	20	20	8	370
		!							1		4		
350 350 350 350 350 350 350 350 350 350	410	350	066	400	380	350	320	340	330	320	0	00	370
	1 1			,				33			1	1	
68 90 90 90 90 90 90 90 90 90 90	9	6	, 9,	6	6	99	10	` -		~	٠, ا	82	74
	<u>ا</u>				v.				!	!			
推 so so R 数 禁		4			ع		75	ί.	莈		#	ī	1

第13表 感染局听所見(2)

路	海紅		器重(8)	_		الارار'	ツリズ艦・摘	韓		原然同	所皮牌~	歷染同所皮膚 〈G·····Geschwür		第日縣 十…米然大	···· ····		#就豆人	·,
Ž,	K	S,	(4)		زيد	1;	<u>=</u>		1		اَت	$\mathbf{K} \cdot \cdots \cdot \mathbf{K}$ rust		=	A Rose		())(1111)()	
; K	316	が時	※世	堡宣	発性	週後	袋怎	联	2和集開 4	480季間	4 H	1 2	17 H	27 H	37 H	47 H	要 24的影問 48的影問 4 日 7 日 17 日 27 日 37 日 47 日 57 日 67	Н 29
	131	380	380 120	360	-	_ 	#	弘	1	 	1		T.0.3×0.	3 TO.5×0.5	A0.5×0.	5 A0.6×($1.0.3\times0.3$ 10.5×0.5 10.5×0.5 10.6×0.6 $10.9\times0.3\times0.3$ 10.4×0.4	8 K 0.4×0.4
						:	-	だ	!	ı	i		1	I 	+	#	#	#
	139	340	340 350 400	100	1	#	#	:	1		I		T0.2×0.	$T0.2\times0.2\ T0.2\times0.2$: i	1		
Ha-s		:			-	Ξ		.	1	1			1	1	1	-		1
	133	320	320 350 330	330	1	+	+			1			T0.3×0.	3 TO.3×0.3	$\mathbf{K0.4} \times 0$	4 G0.6×C	$T0.3\times0.3 T0.3\times0.3 K0.4\times0.4 G0.6\times0.6 G0.6\times0.6 G0.7\times0.7$	6G0.7×0.7
						- i	-		1	i		İ	1	+	+++	‡	≢	=
	139	139 350 360	360	400		#	+			ı	1		T0.4×0.4	170.1×0.4	$A0.6\times0$	$6A0.6\times C$	$T0.4\times0.4$ $T0.4\times0.4$ $A0.6\times0.6$ $A0.6\times0.6$ $A0.6\times0.6$ $A0.6\times0.6$ $A0.6\times0.6$	A0.6×0.6
_)	-)			- :		 :	-	_ 	1	1	+	+	+	+	#	‡

22	્ર	2	ro	l wi	4	1		1		1 1		!	1		1		1		1
0.5×0.	0.2×0.	0.2×0. ++	G0.5×0.5 #	K0.3×0.3 ++	K0.4×0.4 #	‡	≢	1 ≢	‡	1 ≢	۱‡	1 ≢	1 ‡	1 ‡	 ‡	1 ≢	 ‡ 	1 ≢	 ≢
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	K0.2×0.2 K0.2×0.2 ++	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	G0.4×0.4 G	30.3×0.4 ++	0.4	=				≢	‡	1 #		K0.2×0.2 ++		‡		≢	
A0.5×0.5	A0.4×0.4]	K0.2×0.2	2×0.2 #	G0.2×0.2 ++	G0.3×0.3	#	‡	K0.3×0.3	1‡	‡	‡	1‡	‡	K0.2×0.2 K0 ++	1 ≢	1‡	™ ‡	≢	
T0.4×0.4	T0.4×0.4	G0.3×0.3 #	G0.2×0.2 G0.	A0.5×0.5	G0.3×0.3	1 ‡		K0.3×0.3		‡	۱‡	#	#	K0.2×0.2 H			+	1 ‡	X = ==================================
T0.3×0.3	T0.3×0.3	T0.6×0.6	T0.4×0.4 +	4 T0.4×0.4 +	T0.5×0.5	T0.3×0.3 K0.2×0.2 + + +	K0.3×0.3	K0.3×0.3 +	K0.2×0.2 +	T0.2×0.2 +	۱‡	K0.2×0.2 +	T0.2×0.2 ++	T0.4×0.4 K0.3×0.3 + +	T0.4×0.4 T0.4×0.4	T0.2×0.2 K0.2×0.2 + + +	T0.3×0.2 K0.3×0.3	K0.3×0.3 K0.3×0.3 + +	T0.2×0.2 K0.2×0.2 K
T0.2×0.8	T0.2×0.2	T0.3×0.3	T0.3×0.3	T0.4×0.4 +	T0.3×0.3	T0.3×0.3 +	T0.2×0.2 K	T0.2×0.2	T0.2×0.2 +	T0.2×0.2	1+		T0.2×0.2	T0.4×0.4	T0.4×0.4	T0.2×0.8 +	T0.3×0.5	2 K0.3×0.8	T0.2×0.2
11		111				11	11	11	11		11	K0.2×0.2	K0.2×0.2				11	K0.2×0.2	
				1	11	11		11	1 1	11	1	11			 1 1		111	11	11
			11		111	1 1	11		11	111	1.1			11	1.1		11	11	111
11	11	11		1 1	11	11	111	11	11	11	11	111	11	11		11	11	11	11
				1 2			=			:	:	:		å	:		-	=	
+	+	+	+	‡	#	#	‡	+	+	‡	#	#	≢	‡	+	+	+	+	#
	‡	+	+	‡ .	+	#	‡	#	‡	#	+	#	≢	+	‡	#	+	‡	≢
360	330	460	450 -	410 -	490 -	230 -	1 094	410 -	460	490	440	405 +	445 +	480	430	440	435 -	430 +	430 -
360	370 3	400	350 4	320 4	110 4	520 5	470 4	400	430 4	460 4	410 4	420 4	410 4	430 4	420 4	410 4	410 4	440 4	430 4
350	310	330	320	300	370	380	320	310	320	350 4	325	310 4	300	310 4	310 4	320 4	300 4	330 4	350 4
=	3	143	149	150	155	156	157	158	159	160	161	163	164	165	162	166	167	168	169
#		数		##			*	ŧ	噩	阿	絕	: <u>₹</u> ⊀	举	<u>.</u>			数	疆	阿

‡	1‡	1+	 1 ≢ 	≢	‡
‡	1‡	1+		≢	‡
‡	1+	1+		‡	1 ‡
‡	I +	11	‡	‡	1 ‡
1+	1+		‡	K0.2×0.2 +	T0.3×0.3 +
T0.3×0.3		T0.2×0.2	T0.2×0.2 +	K0.2×0.2	T0.2×0.2
	11		11		
11	1 1				11
11	1.1	11	11	11	11
11	11	11		11	1 1
:	-		a		
#	#	#	+	+	#
#	#	#	#	#	#
+	l	1	1	1	1
450	465	09†	330	250	450
330	430	370	310 360	174 350 490	175 300 400
170 310	320	172 300	310	350	300
170	Ha-s 171 320 430	172	173	174	175
+	Ha-s	烟:	疫 群		

第14表 感染局所所見(3)

										`	, 35 - 4K	CH XX VIII							
旣	海) (F	3	_	「ツ」反應	劉	赭		14	医数局所皮膚 ⟨G····	$\{rac{R}{d}\}$	··Rötung ··Geschwür 淋	+ 強 日 3	**************************************	<u>‡</u>	盟豆大		
災	災客	33	Ħį.	星	껉	11	星			9		$(\mathbf{K}\cdots\mathbf{K}$	· · · Kruste	i J	- FE	: ‡	- 拇指頭大		
况	器	経時	発性	換性	杂時	遺後	復經	製	24時間	24時間 48時間	I	7 B	17 H	27 11	37 Н	47 H	57 H	Н 29	
	176		360	067		∄	∄	¥	1	1		1	T0.2×0.2		1		ı	ı	
						=	=	类		1	!	!	1	ı		-	+	+	
	179	340	007	520	+	#	#		-	1		1	T0.4×0.4	T0.4×0.4 K0.3×0.3	1				
В						:	=		į	1	!		 	1		1	ı	I	
CG	180	310	350	410	+	#	+		1	1			T0.2×0.2	T0.2×0.2 K0.2×0.2					
						:	-	٠_	1	1	1	1	1	+		1	l	1	
	181	300			I	#	#		1				1		G0.2×0.2				
纸					!	:	:	2	1		l	1	1		ı	1	1	1	
	183		350		=	7	=		1		1		1	1	1				
		2			,	=	=		1	1	I	1	1		1	į	+	+	
	181		390	096		Ξ	=		1	1	ļ	1	1	1	1	1			
34	[]	010			E	Ē	=	-	1	ı	1	1	1	1	+	+	1	1	
	28.		330	5	-	‡	∄		ļ	1	1	1	1			1			
		8		2		=	E		-	l	l	1	1	i	1	!		ı	
	187	300	400	480	#	#	∄			1			!	$T0.2\times0.2$		1			
## ##						=	=	:	!	1	1	1	1	+	‡	‡	‡	#	
	188	310	360	500	+	∄	#		١	1	ı	1	$T0.2\times0.2$	T0.2×0.2 T0.2×0.2		1	1		
				8		=	=	-	1	1	1	ı	l	1		‡	‡	‡	
	189	320	360	470	#	‡	#		1	1	$K0.2\times0.2$	$K0.2\times0$	$K0.2 \times 0.2 K0.2 \times 0.2 T0.2 \times 0.2$		1		1		
		,	,			:	=	-	1	1	ı	ı	1	-	ŀ	1	+	+	

		_		_																																_	
1+	=	‡	1 +	-	1 :	#	1	‡	1	#	,	‡	1	‡	1	‡		‡	1	+	1	‡	1	+	1	‡	1	+	1	#	ı	+	ı	‡	1	+	Ι≢
1+	3×0.3 T0.3×0.3	‡	I -1	-	1:	‡	1	‡		#	1	#	1	1	1	‡																					1 ‡
1+	T0.3×0.3	-		-	ľ 0.	-	ı			#											10				T0.3×0.3		0]			ļ		+	1	‡ 	1	+	1‡
1+	T0.3×0.3		T0.3×0.3		T0.3×0.3	#	ı	#	K0.3×0.3	‡ ‡	$T0.2\times0.2$	‡	1	+	K0.3×0.3	+	1	‡	$T0.3\times0.3$	+ +	T0.2×0.2 T0.4×0.4 T0.3×0.3	‡	$T0.2 \times 0.2 T0.3 \times 0.3$	+	T0.3×0.3	‡	$T0.3\times0.3$	+	1:	#	1			#	1 -	+	1#
T0.2×0.2 T0.4×0.4	T0.2×0.2 T0.3×0.3 T0.3×0.3	-	T0.2×0.2	-	0.2×0.2	‡	1		K0.3×0.3	‡	$T0.2\times0.2$	#	ı	+	1	+		#	$T0.3\times0.3$	+	$T0.4\times0.4$	+	$T0.2\times0.2$	‡	K0.2×0.2	+	$T0.2\times0.2$	+	F0.2×0.2	#	$\Gamma 0.2 \times 0.2$	+	1	+	1 -	+	1‡
T0.2×0.2	$T0.2\times0.2$		T0.2×0.2		$ T0.3\times0.3 $	1	1	ļ	T0.2×0.2	1	T0.2×0.2	ı		1		1		Į	ı	1	70.2×0.	ı	1	I		١	$T0.2\times0.2$	1	T0.2×0.2	1	1	1			l	ı	1,1
	1	1	T0.2×0.2		1	-				1			[0.3×0	ı	0×	ı		I	I		T0.2×0.27	١	1	!	ł	ļ	$T0.2\times0.2$	1	T0.2×0.2	1	1		!				
	1				1	1	1	1		į	1	1	T0.3×0.37	ı	$T0.2\times0.2$	1	1	1	1	1	T0.8	1	1		1	1	T0.2×0.2	1	T0.2×0.2	1	1	1	ı	1	1	١	
	1	1	1.1		1	1	1	İ		1	۱	I	1		1			١			ı		١	1	1	1	I	1	-	1	İ	1	i	1	1	1	1-1
	1	1	1 1		1		-	[1			1	1	1	ı	1	1	i	1	1	[1	1	1	ı	1	ļ	ı	I	1	l	1	1	1	1	1	11
				Î		j				•				a			Ì	:						٠.		:						:	:	:	-	İ	
#	+		#	Ì	#	:	7	<u>-</u>	=	‡	- -	+	-	+	╡	Ē	=	=	∄	E	=	E	╡	=	∄	=	+	-	+	-	#	=	#	:	#	İ	#
#	#	:	#		+	.	#	ŧ	=	‡	=	‡	=	‡	=	‡	+	۱	∄	ŧ	4	ŧ	#	=	1	-	+	-	+	-	+	-	#	:	#		‡
#	ı	Ì	#		+	-	- 1	‡		1	-	+	-		=		=	=	1		‡	<u> </u>	+	-	1	-	+	-	#	:	#	=	‡	:	#	ij	+
320	400	,	440		350		360		•	01-4-	=		8		410		160		4.10) †	130	100	430	2	300	2	390	3	420	1	380	3	380		400	İ	410
310	350	- 1	380	Ī	350		300	200	1	410	6		9.40		270		270		400	ř	370	5	390	2	300		320		310		970	2	300		310		310
310	300		360		300		200			9/0	8		300	200	330		360	- 1	330	200	365	900	990	2	900	2	390	3	250		930	202	245		255	Ì	255
190	191		192		193		105	CST	100	130	001	120	100	133	900	2	905	3	186	100	177	111	178	2	966		298		11		19	1	13	i	14	Ì	15
		ПŲ		歉		Æ		拖	E	¢B	Κ.	***	<u>,</u>	#								耴	4	É	死	ŧ	Œ.	+		Ha-s	KB	Ķ	莈	#	# #		

rc.	I.C.	<u>ن</u>	ıc	4.	170	. 77	ابن	ī.	4.
$10.4 \times 0.4 10.5 \times 0.5 10.6 \times 0.6 A0.7 \times 0.7 G0.5 \times 0.5 G0.5 \times 0.5 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	$1^{0.2 \times 0.2}$ $1^{0.5 \times 0.5}$ $1^{0.5 \times 0.5}$ $1^{0.4 \times 0.4}$ $1^{0.4 \times 0.4}$ $1^{0.4 \times 0.4}$ $1^{0.6 \times 0.6}$ $1^{0.6 \times 0.6}$ $1^{0.6 \times 0.6}$	T0.3×0.3 K0.3×0.3 K0.3×0.3 G0.3×0.3 G0.5×0.5 K0.5×0.5 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	$1^{0.4}\times0.4$ $1^{0.6}\times0.6$ $1^{0.6}\times0.6$ $1^{0.6}\times0.6$ $1^{0.6}\times0.6$ $1^{0.6}\times0.6$ $1^{0.6}\times0.6$ $1^{0.4}\times0.4$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	10.3×0.3 10.5×0.5 10.5×0.5 10.5×0.5 10.5×0.5 10.3×0.3 10.3×0.3 10.3×0.3	10.2×0.2 G0.3×0.3 G0.4×0.4 G0.4×0.4 G0.6×0.6 K0.5×0.5 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	$T0.4 \times 0.4 G0.3 \times 0.3 K0.3 \times 0.3 K0.3 \times 0.3 K0.5 \times 0.5 K0.5 \times 0.5 + + + + + + + + + + + + + + + + + + +$	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
G0.	G0.	G0.	К0.	G0.	G0.	К0.	K0.	K 0.	К0.
0.5	0.4	0.6	0.5	9.0	0.5	0.3	9.0	0.5	0.4
.5. ¥	4. ¥	×9.≢	.5. ≢	×9.	χ̈.‡	<u>«</u> : ‡	¥, ¥	\v ∓	4. ‡
7 <u> </u> G0	1 K 0	- CO	3.00	3A0	05	K O	0.5	K 0	K0
× -	, 0 ×	× 0.	0 ×	×0.	× 0.	0 ×	0 .	0 .	×0.4
0.7	→ ∓ C	0 ×¥ ±	0.3 X X	0.6× ±	0.5	0.5	0.4	5.3	. +
.6A	.3 K	4. X	<u></u>	.6A	14.		4.	.3 K	.3 X
0×9	0× 2×0 1	:0 ! × ‡	0×±	0×9	ο× +	0 X ±	0×±	3×0 ±	X X T
Т0.	ΚО.	К0.	К0.	Α0.	G0.	Т0.	0.0	К0.	КО.
0.5	0.4	0.5	0.3	0.6	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3
.5. +	Ϋ́Ι	۲ ا ۲.	×. ±	×9.	× +	× ±	× ∓	×. ±	×. +
4 T C	4 T0	2 T 0	3 K 0	1. J	4 K0	10 <u>1</u>	0.5	0.5 1	3 K 0
× 0.	0	× 0.	. 0 ×	× ,	× .	. 0 ×	× 0.	× .	× 0.
4.0,	+.0	2.0.	6.0	ļ , +	1.0	+	0.5	+ + 0	+ 0.3×
							<u> </u>	Ι.	T
	1-1	11		11		11	11		11
			1						
	1 1	1.1	111	11		11		11	
'	, ,	' '	1 1	' '	' '		' '	, ,	' '
11	11	11		11	11		Į I	1.	11
							`		
]	11		11	11	1 !
-	-		4	=	8	=		•	
#	#	#	+	#	#	#	#	#	#
#	#	+	#	#	#	#	#	#	#
1	ı	1	ı	ı	1	ſ	1	ı	1
280	400	330	350	420	390	390	410	430	420
300	360	280	350	330	340	340	320	001	330
250	260	240	265	245	225	255	2.10	250	240
1	2		7	ro	9	7	œ	-6.	10
	#	免	珳	排	(≟≒	: <u>Re</u>	a a	:)	

第7, 8, 9 群ニ於テモ、<u>コッ</u>歩氏現象―見ラルル早期反應ハ認メナカツタ。

第1,2,3,4群ニ於ケル所見ハ、前實驗ノ成績 ニ大體一致シ、毒力菌接種後約2週ニシテ、皮 下ニ小結節コ觸レルニ至り、漸次之ガ擴大シテ 一部ハ膿瘍トナリ、又一部ハ自潰シテ潰瘍ヲ作 リ或ハ痂皮サ蒙リ、剖檢時迄治癒スルニ至ラナ カツタノデアツテ、其間潰瘍ガ漸次小サクナ リ、多少ナリトモ治癒傾向ヲ示 シタルハ、Hastoff 免疫群中ノ5例ニニッ見 タノデアル。而 シテ近接淋巴腺ハ、第1,2,3群ニ於テハ何レ モ蠶豆大ヨリ拇指頭大ニ腫大シタルニ反シ、第 4群ニテハ、終始全ク腫大セザルモノ1例(Nr. 132)、米粒大ニ止リタルモノ1例(Nr. 141)、 豌豆大ノモノ3例(Nr. 139, 143, 150) ⇒ 示シタ ノデアツテ、是等ノ所見ヨリスレバ、コノ4群 ノウチデハ Ha-stoff 免疫群ニ多少ナリトモ毒 力菌感染ニ對スル抵抗力附與能力ノ存スル事が 想像セラレル。燐脂質及燐脂質+Ha-stoff 発疫 群ニ於テハ、接種後旣ニ1週ーシテ小ナル痂皮 形成 ラ示シタルモノ 3 例 (Nr. 163, 164, 168) ヲ 見タルモ、他ハ何レモ2週後ニ至ツテ始メテル 結節ヲ皮下ニ觸レタ。而シテ、ソノ一部ハ4週 後ニ痂皮+形成スルモノモアツタガ、大體5週 後ニハ殆ンド吸收サレ、接種部位ニハ、ソノ痕跡 ラモ認メザルニ至ツタ。淋巴腺ニ於テハ**豌豆大** 乃至蠶豆大ノ 腫脹ヲ 證 シタ。 燐脂質單獨発疫 ト、之ニ Ha-stoff ⇒附加シテ発疫シタルモノ トノ間 ーハ、 皮膚及淋巴腺所見 - 關 シテハ、 著明ナル 差異ハ 認メ 得 ナカツタノデアルガ、 Ha-stoff 單獨免疫ニ比シテハ、遙カニ優ツテヰ

加熱死菌及加熱死菌+Ha-stoff 免疫群ニ於ケル所見ハ、前記燐脂質免疫ノモノト大差ナキモノノ様デアツテ、接種4日-シテ皮下ニ小結節ヲ認メシモノ4例(Nr. 199, 200, 298, 11) ヲ除キ、大部分ハ接種後2週ニシテ始メテ皮膚ニ病變サ見、カクテ5乃至7週ニシテ殆ニド吸收治癒スルヲ認メタ。更ニ淋巴腺ニ關シテハ、米粒

大ノモノ7例(Nr. 190, 192, 186, 178, 298, 12, 14) デアツテ、コノ中 5 例ハ 死菌+Ha-stoff 発 疫默デァル。蠶豆大ニ腫大セルハ第8群ニ2例 (Nr. 193, 198)、第9群ニ1例(Nr. 15) ヲ認メ タガ、他ハ何レモ豌豆大-止ツタ。以上ノ所見 ョリシテ第8,9群ノ発疫力ノ差異ヲ判然ト區 別スルハ凩難デハアルガ、何レカト云へバ Hastoff ヲ加ヘタ方が幾分秀 レテヰルノデハナイ カト思ハレル。BCG 発疫獸卽チ第7群ニテハ、 接種4日後 - 痂皮形成 アリシモノ1例 (Nr. 189)、2 週後ニハ4 例 (Nr. 176, 179, 180, 188)、 4週後1例(Nr. 187)、5週後1例(Nr. 181)ノ 皮膚病變ヲ認メタガ、終始病變ヲ示サザルモノ 3例(Nr. 183, 184, 185) ヲ得タノデアツテ、 他ノ例ト云ヘドモ、大體5週後ニハ吸收治癒ス ルヲ認メタノデアル。而モ猶、淋巴腺ニ於テハ 腫大スルモノ少ク又ソノ程度モ輕微デアツテ、 本群ノ半数ニハ全然淋巴腺ノ腫脹ヲ證スル事ガ 出來ナカツタ。

對照群ハ、全例トモ2週後ニ皮下ニ小結節ヲ生ジ、之が或ハ潰瘍、痂皮ヲ形成シ、漸次擴大シテ遂ニ剖檢時迄治癒シタルヲ認メナイ。淋巴腺ニ於テモ蠶豆大乃至拇指頭大ニ迄腫大セルヲ示シタ。

第五項 剖見所見(第 15、16、17 表、附圖第 2) 毒力菌接種 67 日後ニ各獸トモ「クロロホルム」ヲ以テ 死ニ陷ラシメ、吹ノ如キ剖見所見ヲ得タ。

第1群ハ、肺=結節ヲ證スルモノ5例(Nr. 39,40,46,50,52)、肝モ5例(Nr. 31,40,46,50,52)、脾ハ、4例(Nr. 30,44,47,48) が弱度ノ、3例(Nr. 31,39,40)が中等度ノ、2例(Nr. 46,50)が高度ノ結核性病變ヲ認メダ。腎ハ各例トモ病變ヲ認メズ、淋巴腺ハ何レモ乾酪變性ヲ示シタ。第2群ハ、肺1例(Nr. 29)、肝4例(Nr. 55,29,66,68)=結節ヲ認メ、脾ハ1例(Nr. 59)=結節ヲ認メブ、3例(Nr. 53,54,90)ノ輕微ナル病變ヲ示セルモノ、他ハ何レモ强度ノ結核性變化ヲ件ヒ、腎ニハ全例變化ナク、淋巴腺ハ米粒大1例(Nr. 54)ノ他ハ蠶豆大乃至拇指頭大ニ腫脹シ乾酪變性ヲ示ス。第3群ハ、肺2例(Nr. 7,28)、肝5例(Nr. 99,97,7,9,28)=病變アリ、脾ハNr. 74ノミ少物

ノ結節ニテ、他ハ總テ强度ノ病變ヲ示シ、腎ニハ變化 ナク、淋巴腺ハ Nr. 8 ノ米粒大ナルヲ除ケバ、他ハ 蠶豆或ハ拇指頭大ニテ何レモ乾酪變性ニ陷ル。第4群 即チ Ha-stoff 免疫群ハ、肺ニ病變アルモノハ1例モ無 ク、肝2例(Nr. 141, 155)ニ少數ノ結節アリ、脾ニ於 テハ、Nr. 141, 142 ニ中等度ノ病變アリ、Nr. 150, 155 ニハ極少敷ノ結節アリテ、他ノ6例ニハ病變ヲ見 ナイ、腎ハ變化無ク、淋巴腺ハ腫脹ヲ見ザルモノ1例 (Nr. 132)、米粒大1例(Nr. 141)、他ハ豌豆大或ハ蠶 豆大ヲ示シタ。第5群ニテハ、肺ニ病變 アルモノ無 ク、肝ハ1例(Nr. 162)、脾ハ4例(Nr. 156, 160, 162, 163)ニ輕微ノ病變アル外、他ハ全然病變ヲ缺キ、腎ハ 全例トモ變化ナク、淋巴腺ハ何レモ乾酪變性ニ陷ル。 第6群ハ、肺、肝ニ病變ハ認メラレズ、脾ハ Nr.166, 169, 170 ニ極少數ノ結節ヲ見ルノミニテ、他ハ全然變 化ナク、腎ハ變化ヲ認メズ、淋巴腺ハ全例トモ乾酪變 性ョ示ス。以上第5群ト第6群トヲ比較スルニ、第6 群が少シク抵抗力優ルモノ、様デアル。第8群ト第9 群ニ於テモ、第 5,6 群ニ於ケルト同様ナ 關係が認メ ラレルノデアツテ、第8群ニテハ、肺ニ變化アルモノ 無ク、肝ハ1例(Nr. 195)ニ之ヲ認メ、脾ハ、Nr. 191, 192, 193, 195 ノ4例ニ極微弱ノ變化ヲ見ル外、他ノ 例ハ病變ヲ見ナイ。第9群ニテハ、肺ハ1例モ病變ハ 認メラレズ、肝ハ1例(Nr. 298)ニ、脾ハ、Nr. 296, 298 ノ2例ニ少數ノ結節ヲ見ルノミニテ、腎臓ハ兩群 トモ變化ハ認メラレナイ。一般的ニ見テ、第9群が第 8群ニ比シ良好ナ成績ヲ示シテ居ルト思フ。

BCG 免疫群(第7群)ハ本實驗ニ於テ、實ニ顯著ナル 免疫力ヲ示シタノデアツテ、肝、肺、脾、腎各臓器 トモ、健康海復ノ夫レ等ト毫モ異ナル處ナク、全ク正 常ナルヲ認メタ。唯 Nr. 176, 179, 183, 187, 188, 189 ノ 6 例ニ於テ近接淋巴腺ノ米粒或ハ豌豆大ニ腫大シ、 一部乾酪變性=脳レルヲ見タノミデアル。即チ本實驗 ニ於テ BCG ハ先が殆ンド完全トモ稱スベキ感染防 禦力ヲ發揮シタモノト云ヘヤウ。第10 群即チ對照群 ニ於テハ、肺及肝ヲ侵サレタルモノ4例(Nr. 1, 3, 4, 9)ヲ認メ、脾ハ、各例トモ小結節が瀰蔓性ニ脾臓 表面ニ表レ、且又大サモ肥大シ、重量モ増シ、高度ニ 侵襲サレタルヲ示シタ。淋巴腺ハ何レモ蠶豆大或ハ拇 指頭大ニ腫脹シ、內容ハ全ク乾酪變性ニ陷レルヲ認メ タ。

第 15 表 剖 檢 所 見(1)

_		1				3C H3		1					
免	海	朋	ĩ	用	F	胆	ļ.	才		fi 左	:	近接着	*巴腺
疫	複番號	重量	病	重	病	重	病	重	病	重	病	大	病
元		gr	變	量	變	量	變	量	變	最	變	#	變
	30	5		18		2	•	2	_	2		+++	西各
	31	5		19	•	2.7	••	2	_	2	_	+++	,,
A.T.	39	5	•	21	_	1.2	••	2.7	_	2.7		1111	,,
免	40	4.5	•	19.5	•	2.7	••	2.5		2		+++	,,
疫	44	5.5		17.5	_	1	•	2	_	2	_	##	,,
	46	5.5	••	21.5	• •	2.5	::	2		2	_		,,
群	47	3.5	_	18.5		1.2	•	2	_	2		##	,,
(1)	48	5		17	_	1.2	•	2		2		++2	,,
	50	5.5	••	18	••	1.5	::	2		2.2		++	-,,
	52	5	•	19	•	1.5	••	2.2		2			
Ī	53	3.7	_	15	_	1	•	2	_	2	_	+++	西各
,,	54	3.7	_	15.2	_	1.7	•	1.9	_	2	_	+	,,
Np⋅s	55	3.5	_	13.5	•	1.7	:•	2	_	2		1112	
免	29	4.5	•	17.5	•	2	:•	2		2	_	##	
挖	59	3.5	_	14.5	_	1	_	2		.2	_	##	.,
1	66	3	_	13.5	••	1.5	:•	2		2	_	##	,,
群,	67	6.5		15.7	_	1.2	••	2.5		2.0	_	++2	,,
(2)	68	5.5	_	20.5	•	1	••	2	_	2	_	##	
ĺ	90	3.5	_	14.5	_	1.2	•	2	_	2		HH.	
	95	3.5	_	14.5	_	1	••	2.5		2		##	
Ī	96	6	_	16.5		2	••	3		2.5		III	西省 一
To-s	97	6		18	•	2.5	:•	2.5	_	2.5		##	-,,
10-5	99	5		13.5	•	1.7	••	3.2	_	3	_	##	,,
免	100	4.5		14.5	_	2	••	2	_	2	_	##2	,,
疫	1	5.9	_	16	_	2	••	2.5	_	2	_	##	•••
	7	6	•	15.2	•	3	:•	2		2	_	++	,,
群	8	4.5	_	11.7	_	2	••	2.2		2.2	_	+	
(3)	9	9	_	16	•	2	••	3	_	3	_	+++	
	28	4.2	••	13	••	3	::	2.7	_	2		##	-,,
	74	4.5		13.2	_	1.7	•	2.7		2.7		++	-,,

第 16 表 剖 檢 所 見(2)

免	海賀	肺	์ เ	肝		月年	!	右		§ · 左	:	近接港	大巴腺
疫	復 番 號	重量	蒳	重	病	重	病	重	病	重	病	大	病
元		gr	變	最	變	最	變	最	變	量	變	サ	變
	131	3.5	_	15	_	2.2	_	1.7	_	1.7	_	##	西各
,,	132	3	_	15	_	1.2	_	2	_	2		_	
Ha-s	133	3	_	12.5		1	_	1.5	_	1.5	_	##	西各
免	139	4	_	18	_	1	_	2	_	2	_	++	,,
疫	141	3.2	_	11.5	••	0.9	:•	1.5		1.5	_	+	,,
~	142	3.7	_	15		1.2	••	2	_	2	_	+++	,,,

群	143	4		16.5	_	1		2		2.2	_	++2	,,
(4)	149	4	_	18	_	1	_	2	_	2	_	##	,,
	150	3	_	12.5	_	1	•	2	_	2	_	++2	,,
	155	4.7	_	16.5	•	1.5	•	2	_	2		+++	,,
	156	5.5		20.5	_	2	•	2	_	2	_	++	酪
燐	157	4	_	18.5	_	1.2		2	_	2.5	_	+++	,,
脂	158	4.5	_	20	_	1.5		2.5	_	2.5	_	##	,,
質	159	4.5	_	16.5	_	1.7	_	2	_	2	_	##	,,
免	160	4	_	18.5	_	1.2	••	2	_	2	_	##	,,
疫	161	3.5	_	15	_	1	_	2	_	2	_	++	,,
群	163	3		15.5		1	•	1.7	_	1.7		##	,,
(5)	164	4	_	16.5	_	1	_	2	_	2	_	++2	,,
	165	3.5	_	18	_	1.5	_	2	_	2	_	++	,,
	162	4	_	17.5	•	1.2	•	2	_	2	_	+++	,,
	166	4.5	_	19	_	1	•	2		2	_	 	西各
燃	167	4.7	_	18.5	_	1.2	_	1.7		1.7	_	++	,,
脂	168	3.7	_	16	_	0.6	_	1.8	_	2	_	##	,,
	169	3.5	_	18	_	0.7	•	1.5	_	1.7	_	HH	,,
Ha-s	170	3.5		16	_	1	•	1.8	_	1.7	_	++	,,
1	171	4	_	16.5	_	1	_	2		2	_	++	,,
発 程	172	3.5	_	15.5	_	1	_	2	_	1.7	_	++	,,
	173	3.5		12	_	1	_	2	_	2		H+2	,,
(6)	174	4.5		20.5	_	1		2	_	2	_	##	,,
	175	3.2	_	16.2	_	0.7	_	1.7	_	1 7	_	##	,,

第 17 表 剖 檢 所 見(3)

免	海	胙	i	ឤ	f	脾	! ,	<i>†</i>		子	÷	近接湘	*巴腺
疫	沒 霍 號	重量	病	重	病	重	病	重	病	重	病	大	病
元	號	量 gr	變	報	變	站	變	抗	變	湒	變	+	變
	176	4.5		21		1.5	_	2.5	-	2.5	_	+	西各
В	179	5	_	20	_	1.5	_	2	_	2		+	,,
ВСG	180	4		15.5	_	1		2	_	2			_
免	181	3.5	_	15	_	1	_	2	_	1.7	_	_	_
	183	3.5	_	17.5	_	1	_	2	_	2	_	+	酪
疫	184	3.2	_	13	_	1	_	1.7	_	1.7			
群	185	4	_	17	_	1	-	2		2	_	_	
(7)	187	4	_	18.5	_	1.2	_	2.2		2.2		++	酪
	188	4	_	17.5	_	1.2	_	2.2	_	2.2	_	++	,,
	189	4	· —	19	_	1.5	_	2.2	_	2	_	++	,,
	190	3	_	13	_	1.5	_	1.7	_	2	_	++	酪
加	191	3.5	_	14.5	_	1	•	2	_	2	_	++	,,
熱	192	3.5	_	17.2	_	1	•	2	-	2	_	+	,,
死	193	3	_	16		1.5	•	2	-	2	_	HH	-,,
菌	195	3	_	16	•	1.2	•	1.7	_	1.7	_	++2	-,,
免	198	5	_	15	_	1.2	_	2	-	2	_	##	,,
	196	4	_	14.5		1	_	2		2	_	++	,,

搜	199	5		14	_	1 -	_	2		2		++	,,
群	200	4		13.5	_	1.2 -	-	2	_	2	_	++	,,
li	295	3.5	_	16.5	_	1 -	_	2	_	2	_	++	,,
ΙΤΪ	186	4.7		17.7	_	1.7 -		2.5	_	2	_	+ 1	西各
ha .	177	4	_	15	_	1 -		2	_	2	_	++	,,
熱死菌	178	4.5	_	14.5	_	1.2 -	_	2.5	_	2.5	_	+	,,
南	296	3.5	_	15	_	1	;	1.7	_	1.7	_	++	,,
+	298	3		1.1	•	1	•	2	_	2	_	+	,,
Ha-s	11	3.7	_	16.7	_	1.2 -	_	2.2		2.2		++	,,
免疫群	12	3	_	15	_	1.5 -	_	2	_	2	_	+	,,
群	13	4.5	_	15.5	_	1.5 -		2	_	2	_	++2	,,
(9)	14	3.5	_	15	_	1 -	_ :	2	_	2	_	+	,,
	15	4.2	_	19	_	1 -	- 1	2	_	2	_	###	,,
	1	5	••	19	::	3.5	:	2	•	$\frac{2}{2}$	_	HH	西各
非	2	4		18	_		:	2	_	2	_	##	,,
発	3	4.5	•	18.5	••	2.5	:	2	_	2	_	###	,,
抄	-1	5.5	••	20	:•	2.3	:	2	_	2	_	HH ₂	,,
群	5	4		16	_	2.5	•	2	_	2	_	###	,,
對	6	5	_	11.5		2.5	•	1.7	_	1.7	_	##	,,
照	7	1	_	15.5		2.5	:	2.5	_	2.5	_	++	,,
	8	4	_	18	_	3	•	2	_	2	_	##	.,
(10)	9	5	•	22	:•	5	:	2	•	2	_	##	,,
	10	5.5	_	18		2.5		2 .		2		+++	-,,

第六項 組織學的檢索(第18表)

前項ニ述ベタル剖検所見ニ依ツテ、各免疫元ノ感染防 禦能力ノ差異ハ大體判明シタノデアルが、猶是等ヲ確 メルタメニ、各群ヨリ、ナルベク病戀ノ輕度ナル脾臟 3個宛コ選ビ、コレラヨリ微細ナル戀化ヲモ檢索シ、 以テ剖檢成績ニ資セントシタ。而シテ梅索ノ重點ヲ、

第18表顯微鏡的所見 肉眼的 所見 顯微鏡的所見 涉 内眼的所见 顯然鏡的所見 復番 350 群 重二精 結 乾變上細巨細 結|結|乾變上細巨細 上。 皮胞 大胞 不 皮胞 $_{\rm id}^{\rm gr}$ 號 號 $\mathbb{H}_{\mathcal{C}}^{\mathrm{gr}}$ 節 酪性様 節 酪性樣 íΰ 節 大胞 30 2 + + + + + + 171 1 + ! -172 14 1 ++ ## 1 ++ 1.2 + 173 1 47 ++ , +++ 176 1 ++ 531.554 1.7 + ++ ++ 179 1.5[-++ 59 1 + + ++ +180 1 ## : ## 196 1 99 1.7 ++ ## \pm ++ 1 1.2 3 100 2 ++ ++ ## ++ 198 7.1 1.7 + | ++ | ++ ## ++ 199 1 \pm 2.2 -1.2 131 + ++ + 11 1.5 -132 1.2 _ + + 12 + + 133 13 1.5 -1 + ++ 1.2 - | ++ 5 2.5 ₩ 157 ++ ## | ## 5 158 1.5 -10 6 2.5 ++ ## + 1.7 -159 10 2.5 +++ ++ +

上皮様細胞、巨大細胞並二乾酪變性ノ有無二置イタ。組織學的檢査ニテモ、病變ノ輕重ハ肉眼的ノ所見ト略く一致シテ居ル様デアツテ、第1群ニテハ3例トモ多數ノ結節形成ヲ證シ、又何レモ乾酪化シテヰル。第2群ニテハ、第1,10群ニ比シテハ幾分病變が輕イ様デ、第53號ノ如キハ結節形成ヲ認ムルモ乾酪化ハ證サレナイ。第3群ノ3例ハ對照群ト殆ンド差異かナイ位侵サレテヰル。第4群ニテハ、3例トモ肉眼的ニハ結節ハ證明サレナイが、顯微鏡的ニハ何レモ結節ヲ認ムル事が出來タ。然シ乾酪變性ニ陷レルモノハ無イ。第5郡へ、ヤハリ肉眼的ニハ結節ヲ認メナイが、顯微鏡的ニハンヲ證スル事が出來々。然シコレモ乾酪化ハ認メ

ラレナイシ、巨大細胞モ見ナレナイ。第6群ニ於テ、Nr. 173 が肉眼的ニモ、顯微鏡的ニモ 結節形成ヲ示サナイ。他ハ少數ノ結節ヲ認ムルモ、ソノ乾酪化ハ證サレナイ。第7群ノ3例ハ、何レモ殆ンド健常ト變リナク、Nr. 176 ニ於テ少數ノ上皮標細胞ノ如キモノヲ認ムルが、結節ハ認メラレナイ。第8及9群ヲ檢スルニ、第7群程デハナイが、其他ノ試賦ニ比シテハ病變が輕度デアリ、殊ニ第9群ハ8群ニ比シ輕度デ、結節ハ證シテモ、ソノ數ハ少ク、孤立性デアリ、乾酪變性ハ全ク之ヲ證スル事ハ出來ナイ。コレヲ要スルニ本檢索ニ於テモ前項ト略;同様ナル成績ヲ得ル事が出來タノデアル。

第三節 本章ノ小括

以上9種類/発疫元ヲ以テ、感染防禦實驗ヲ行 ツタノデアルガ、コノ成績ヲ小括シ、発疫元ト シテ最モ優レタルモノヨリ順ニ配列スレバ次ノ 如クニ纏メテモ差支へナイト思フ。 BCG-加熱死菌+Ha-stoff-加熱死菌-燐脂質+Ha-stoff-燐脂質-Ha-stoff ノ順ニナリ、其他ノ物質ニハ発疫力無シト斷定スルニ憚ラナイノデアル。

第三章 BCG 免疫後「ツ」劃分ヲ以テ處置セル海猽ノ感染防禦實驗

BCG が健康動物ニ對シ、病原性アリヤ否ヤニ關シテハ殆ンド論議シ盡 サレ、現今ニ於テハAvirulent ナリトシテモ過言デハアルマイ。曾ツテ、Kraus⁽⁵⁵⁾, Korchun⁽⁵⁶⁾, Hutyra⁽⁵⁷⁾, Kirchner⁽⁵⁸⁾, Watson, Chiari⁽⁵⁹⁾, Moussa⁽⁶⁰⁾, Tiedman, Metschnikow⁽⁶¹⁾, Hormache⁽⁶²⁾ 等ハ BCGニ毒力アリトシ、或ハ假令無毒ナリトスルモ毒力復歸ノ憂アリトシ、又 Tetroff⁽⁶³⁾ ハ BCG ノ集落解離ニ際シS型ニ病原性アリトスルガ如ク唱へタル事モアツタノデアルガ、Calmette ー派ラ始メ、Br. Lange⁽⁶⁴⁾, L. Lange, Nélis u. Picard⁽⁶⁵⁾, Nechtadimenko⁽⁶⁶⁾, 伊藤⁽⁶⁷⁾、高橋、伊

藤⁽⁸⁾等ハ毒力ナシト云と、今村教授⁽⁹⁾、戸田教 授⁽⁰⁾モ無毒力ナリト信ジテ居ル様デアル。 余ハ前章ニ於テ、結核免疫ニ關シテハ、死菌、 菌體成分、「ツベルクリン」中ノ有效成分或ハ又、 是等ヲ混ジテ 発疫 シタルモノョリモ、BCG ヲ 以テスル免疫が、遙カニ優ル事ヲ述ベタノデア ルガ、於此、余ハ海猽ヲ BCG ヲ以テ発疫シ、 引續キ「ツ」或 ハソノ割分ヲ 以テ 處置 スルトキ ハ、毒力菌接種ニ對スル抵抗力ニ如何ナル影響 ラ及ボスモノナリヤ、果シテ些少ノ障碍ヲモ奥 ヘザルヤ、或ハ悪影響ヲ及ボスモノナリヤ、ヲ 實驗スルノ必要ヲ認ムルニ至ツタノデアル。

第一節 實驗方法

第一項 供試獣 350 gr 前後 / 健康 海鎮 30 匹 月 選 ビ、之 月 6 群 = 分ツ。 各駅 トモ BCG 免疫後、第 1 群ハ舊「ツ」、第 2 群ハ Np-stoff, 第 3 群ハ To-stoff, 第 4 群ハ Ha-stoff ヲ以テ處置シ、第 5 群ハ BCG 免

疫後、何等處置ヲ施サズ、第6群ハ當初ョリ BCG ハ勿論、劃分ニテモ何等處置ヲ施サザル即チ、非発疫 無處置群デアル。

第二項 発疫元 BCG ハ教室保存ノモノニテ、Pet-

ragnani 氏培地=約3週間培養シタルモノヲ、生理的 食皫水浮游液トシテ使用ス。舊「ツ」、Np., To., Hastoff =關シテハ、第一章、第一節=述ベタルヲ以テ 略ス。

第三項 免疫方法及免疫期間

第1, 2, 3, 4, 5 群何レモ BCG 1 mg ヲ皮下上射ス。 而シテ第1, 2, 3, 4 群 ハ BCG 免疫後2週 ノ後、舊「ツ」及各劃分ヲ以テ次ノ如ク處置ス。第1群ハ、A.T. 10×液 ヲ、0.1—0.1—0.15—0.2—0.25—0.3--0.35 ccm ノ順ニ増量シテ、 3 日毎ニ 皮下注射 ス。第2群ハ、Np-stoff ヲ、1—1—1.5—1.5-2—2-2-2.5 mg ノ 0.2 ccm 生理的食鹽水溶液トシタルモノヲ 皮下注射

ス。第3群ハ、To-stoff ヲ 0.5—0.5—0.75 -0.75—1.0—1.5 mg ノ 0.2 ccm 生理的食鹽水浴液ヲ 3 日毎ニ皮下注射シ、第4群ハ、Ha-stoff ヲ第2群ニ於ケル Np-stoff ノ量ト同量ヲ漸次増量シテ皮下注射ス。

第四項 感染法 人型結核菌 Petragnani 氏培地培養 ノモノヲ 0.1 mg 宛、第1,2、3,4 群ハ各劃分處置終 了後3日目ニ、第5,6 群モ前群ト同時日ニ、皮内ニ 注射ス。斯クテ、體重ノ變化、「ツベルクリン」皮内反 應ノ變遷、毒力菌接種局所皮膚及淋巴腺ノ變化ヲ檢 ン、最後ニ剖檢ヲ行ツタ。

第二節 實驗成績

第一項 體重ノ變化 第19表

全群、各例+通ジ BCG 発疫ニョリテハ、何等 影響+受ケズ、體重ノ増加チ認メタノデアルガ、 引續+施行シタル「ツベルクリン」劃分ノ注射ニ 依リテハ、以下述ブルガ如キ特異ナル變化+認 ムル事が出來タ。第1群ハ、減少シタル例ハナイガ、増加量ハ少ナイ。第2群ハ、減少シタル モノ2例、増加シタルモノ3例ヲ見タガ、増加 量ハ少イ。第3群ハ少カラス體重ノ減少シタモ ノガ多イ。第4群ハ減量シタルモノナク、著シャ體重サ増ス。而シテ各群トモ處置終了後ハ體重ノ動搖モ少ク、赤力菌接種後ト雖モ漸次增量シタ。但シ第6群ハ5例中、3例ハ毒力菌接種後、剖檢迄ニ體重ノ減少ヲ認メタ。 要之一、BCG 免疫ノミノ海渠ハ 體重二大 イナル動搖ナク最後迄増加シテ行クガ、To-stoff 處置ニヨリテハ一時體重ノ減少ヲ招ク事多ク、最モ影響コ及ボサザルモノハ Ha-stoff デアツタ。

免疫	海番,	性	B 免體 C 疫	坍	劃免制 夜	增	生感體	增	剖震 検	発剖 疫檢
元	猽虩	別	G前重	减	分時重	減	南時重	减	172 11年近	前時差
	70	\$	320	+10	330	+ 5	335	+15	350	+30
BCG	95	\$	300	+15	315	+15	330	+15	345	+45
及	91	\$	345	+25	370		370	+30	400	+55
A.T.	93	\$	300	+ 5	305	+10	315	+35	350	+50
ĺ	94	\$	320	+30	350	+ 5	355	+25	380	+60
	96	\$	330	+10	340	+ 5	345	+25	370	+40
BCG	100	\$	290	+25	315	- 5	310	+40	350	+60
及	101	†	310	+ 5	315	+10	325	+15	340	+30
Np-s	102	\$	315	+15	330	+ 5	335	+25	360	+ 15
	103	\$	330	+ 5	335	- 5	330	+25	355	+25
	106	\$	340	+10	350	-10	340	+10	350	+10
BCG	107	\$	350	+ 5	355	+ 5	360	+ 5	365	+15
及	108	\$	320	+15	335	— 5	330	+15	345	+25
To-s	109	\$	320	+ 5	325	-	325	+25	350	+30
	110	\$	330	+10	340	-10	330	+20	350	+20

第19 表體重ノ變化

	113	- (t	330	+ 5	335	+15	350	+40	390	+60
BCG	114	\$	350	+10	360	+25	385	+25	410	+60
及	116	\$	340	+10	350	+ 5	355	+30	385	+45
Ha-s	117	\$	335	+15	350	+25	375	+20	395	+60
	118	\$	360	+ 5	365	+15	380	+40	420	+60
	122	\$.	335	+10	345	+15	360	+20	380	+45
	123	₹	335	+ 5	340	+10	350	十251	375	+40
BCG	127	_ <u></u>	300	+15	315	+ 5	320	+20	340	+40
	128	₹ .	315	+10	325	+20	345	+45	390	+75
	105	Ţ.,	330	+10	340	+10	350	+30	380	+50
	104	\$	300	+ 5	305	+15	320	-15	305	+ 5
非	111	ţ	340	+ 5	345	+15	360	+ 5	365	+25
免疫	112	Ţ	335	+15	350	+20	370	- 5	365	+30
群	115	↑	335	+10	345	+15	360	-50	310	-25
145	119	<u> </u>	330	+10	340	+20	360	+ 5	365	+35

第二項 「ツベルクリン」皮内反應ノ變化 (第20表

BCG 接種2週後ニハ各獣何 レモ、强陽性 ツ 皮内反應サ呈ヘルニ至ツタガ、其後1各劇分處 置ニョリ、第1,2,3群ニ於テハ、 處置前ニ比 シ、少シク皮内反應弱マリタルガ如ク見エタガ、 第4群ニテハ、處置後陰性トナリタルモノ4例 (Nr. 113, 116, 117, 118) + 敷 へ タ。然シナガラ、毒力園再接種ニョリテハ、各獣トモ再ビ服陽性反應サ示スー至ツタ。コレナ 要 スルニ、Ha-stoff ハ、「ツベルケリン・アレルギー」サデス海線→處置 ヘル事ニョリ「アネルギー」化スル事ハ出來ルガ、處置終了後、再接種ニ依り再ビ陽性反應」呈スル様ニナル。

第20表「ツ」反應ノ鰻化

砭	海	摘要	BCG	免疫前	BCG 訓分與	免疫後 色疫 時	劃 分 兔 (F)生資		刮	檢	βĬÍ
· 佐 元		下 時間 反應元	21	48	24	18	51	18	24	İ	48
	70	10 × A.T NaCl	•	-	0.6×0.6	0.9×0.9	0.3×0.3	0.6×0.6	$0.5\overline{\times}0$.50.	8×0.8
BCG	95	,,	J		0.7×0.6	1.0×1.0	0.6×0 6	0.6×0.6	0.6×0	.61.	0×1.0
及	91	,,	=		0.6×0.6	0.8×0.8	80.4×0.1	0.7×0.7	0.7×0	.71.	2×1.2
Λ.Т.	93	,,			1.0×1.0	1.3×1.5	0.5×0.5	0.7×0.7	0.5×0	.50.	8×0.8
	94	,,	0.3×0.3		0.8×0.8	1.2×1.2	2	0.4×0.1	0.5×0	.50.	7×0.7
	96	,,		_	$\begin{vmatrix} 0.7 \times 0.7 \\ - \end{vmatrix}$	1.0×1.0	0.3×0.4	0.5×0.5	0.6×0	.60.	9×0.9
BCG	100	**		- va	0.5×0.5	0.8×0.8	30.2×0.2	0.7×0.7	0.5×0	.60.	9×0.9
及	101	,,			1.2×1.2	1.5×1.5 —	0.7×0.7	1.0×1.0	1.0×1	.01.	3×1.3
Np-s	102				0.7×0.6	1.0×1.0	0.4×0.4	0.6×0.6	$0.5\overline{\times}0$.60.	$\overset{-}{8\times}0.8$
	103	,,		_	0.6×0.6	$0.8\overline{\times}0.8$	30.7×0.5	0.7×0.7	0.5×0	.50.	6×0.6

	106	.,			$1.0 \times 1.01.5 \times 1.50.6 \times 0.60.8 \times 0.80.7 \times 0.71.0 \times 1.0$
BCG	107	,,	0.1×0.10	.2×0.	$20.7 \times 0.81.2 \times 1.2$ $0.5 \times 0.5 + 0.0 \times 1.00.7 \times 0.70.8 \times 0.8$
及	108	,,			$0.6 \times 0.60.9 \times 0.9$ $0.3 \times 0.30.7 \times 0.70.5 \times 0.50.7 \times 0.7$
To-s	109	•••	- Jes		$1.2 \times 1.21.6 \times 1.60.3 \times 0.30.5 \times 0.50.6 \times 0.61.0 \times 1.0$
	110			 	$0.8 \times 0.81.3 \times 1.3$ $0.5 \times 0.50.8 \times 0.80.7 \times 0.71.2 \times 1.2$
	113				$1.0 \times 1.01.3 \times 1.30.3 \times 0.30.4 \times 0.40.5 \times 0.50.7 \times 0.7$
BCG	114	,,		-	0.9×0.91.4×1.40.4×0.10.6×0.60.7×0.71.0×1.0
及	116	,,			$0.7 \times 0.71.0 \times 1.00.2 \times 0.20.3 \times 0.30.6 \times 0.60.8 \times 0.8$
Ha-s	117				$0.8 \times 0.71.0 \times 1.0$ $0.5 \times 0.50.8 \times 0.8$
	118				$1.2 \times 1.21.7 \times 1.70.3 \times 0.30.4 \times 0.40.7 \times 0.71.0 \times 1.0$
	122	,,			$0.7 \times 0.70.9 \times 0.90.6 \times 0.6 + 0.0 \times 1.00.7 \times 0.71.0 \times 1.0$
	123	11			$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
BCG	127	••			$\begin{array}{c} 1.3 \times 1.31.7 \times 1.70.7 \times 0.71.2 \times 1.30.8 \times 0.81.2 \times 1.2 \\ - & - & - & - & - \end{array}$
	128	;,			$0.5 \times 0.50.8 \times 0.8 1.0 \times 1.01.5 \times 1.5 0.8 \times 0.81.0 \times 1.0$
	105	**			$1.0 \times 1.01.0 \times 1.20.7 \times 0.71.0 \times 1.00.8 \times 0.81.3 \times 1.3$
 訓:	104	,			$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
発	111	.,	0.3×0.3		
搜	112	.,			0.8×0.81.2×1.2
群	115				1.0×1.01.3×1.4
	119	***			0.6×0.60.8×0.8

第三項 毒力菌接種局所皮膚及近接 淋巴腺ノ變化(第21表

第6群及第4群ノ一部ヲ除イテハ、各獣トモニ早期反應ヲ認メタ。即チ接種後24時間後、注射局所ニ徑 0.7 cm 前後ノ發赤、浸潤ヲ來シタノデアルガ、是等ハ數日中ニ漸次中央部ガ壤死或ハ潰瘍コポニモツタ。然シ、コレモ順次治癒傾向コ示シ、5週目頃ニハ全ク痕跡コモ止メガルモノ少クナイ。第1群ハ、Nr. 70, 91 が3週前後ニテ治癒シ、他ノ3例ハ6週前後ニテ痕跡ヲ止ムルノミ。淋巴腺ハ豌豆大ヨリ蠶豆大

ニ腫脹へ。第2群ハ、全例5週前後ニテ治癒シ、淋巴腺モ小ナルハ米粒大(Nr.96)他ハ豌豆大チ示ユニ過ギス。第3群ニテハ、2例(Nr.108,110)が極小サキ潰瘍サ剖檢時迄侵シタガ、他ノ3例ハ6週前後ニテ治癒シタ。淋巴腺ハ米粒大ニ止リタルモノ1例(Nr.107)、他ハ何レモ蠶豆大ニ腫大シタ。第4群ハ、早期反應ノ著明ナラザルモノ3例(Nr.113,116,117)+認メタ。然シナガラ、潰瘍形成ハ全例トモ5日前ニハ認メラレ、是等ノ潰瘍ハ5週前後ヨリ画次治癒サポシタ。第5群ニテハ著明ナル早期反應アリ、

							•		第	21
免 疫	海猽番	人(F) 感染時體重	人(F)	摘			感	染局所皮膚{C	{····Rötung G····Geschwü C····Kruste	r
元	號	感重	怒 染	要	24 時 間	48 時 間	4 日	6 日	10 日	17 日
		335	1	皮淋	R0.5×0.5	R0.5×0.5	R0.3×0.3	G0.2×0.2	G0.2×0.2 +	G0.2×0.2 +
BCG	95	330	+	,,	R0.6×0.6	R0.7×0.7	R0.3×0.3	G0.4×0.4 +	G0.4×0.4 +	G0.5×0.5
及	91	370	+	,,	R0.5×0.5	R0.5×0.5	R0.3×0.2	G0.2×0.2 +	G0.2×0.2 +	± ++
A.T.	93	315	+	••	R0.4×0.4	R0.4×0.4	R0.2×0.2	G0.2×0.2	G0.2×0.2	G0.2×0.2
	94	355	+	,,	R0.4×0.4	R0.4×0.4	$G^{0.2\times0.2}$	G0.2×0.2	G0.2×0.2	G0.2×0.2
	96	345	+	,,	R0.6×0.6	R0.4×0.4	G0.2×0.2	K0.2×0.2 +	K0.2×0.2 +	K0.2×0.2 +
BCG	100	310	+	,,	R0.5×0.5	R0.4×0.4	R0.4×0.4	G0.2×0.2	K0.2×0.2	K0.2×0.2
及	101	325	+	,,	R0.6×0.6	R0.6×0.6	R0.5×0.5	R0.5×0.5	60.4×0.4	G0.6×0.6
Np-s	102	335	+	,,	R0.3×0.3	R0.3×0.3	R0.3×0.3	G^{0} $\overset{2\times0.2}{-}$	G0.3×0.3	G0.4×0.4
	103	330	±	,,	R0.5×0.5	R0.6×0.6	R0.5×0.5	K0.2×0.2	K0.1×0.1	G0.1×0.1
	106	340	+	,,	R0.4×0.4 —	R0.4×0.4	$\frac{R0.4\times0.4}{-}$	R0.3×0.3 —	G0.3×0.3 +	G _{0.3} ×0.3
BCG	107	360	+	,,	R0.5×0.5	R0.5×0.5	R0.4×0.4	G0.3×0.3	K0.3×0.3 +	K0.4×0.4 +
及	108	330	+	,,	$R0.5\times0.5$	$R^{0.4\times0.4}$	R0.4×0.4	G0.1×0.1	G0.2×0.2	G0.3×0.3 +
To-s	109	325	+	,,	R0.1×0.4	R0.6×0.6	R0.5×0.5	G0.5×0.5	G0.5×0.5	K0.4×0.4
į	110	330	+	,,	R0.5×0.5	R0.5×0.5	R0.5×0.5	G0.2×0.2	G0.2×0.2	G0.3×0.3
	113	350	±	,,	R0.4×0.4	R0.4×0.4	R0.3×0.3	G0.2×0.2 +	G0.3×0.3 +	G ⁽⁾ .3×0.3
BCG	114	385	+	,,	R0.5×0.5	R0.5×0.5	R0.5×0.5	R0.5×0.5	G0.2×0.2	G0.2×0.2 +
及	116	355	±	,,	R0.3×0.3	R0.3×0.3	R0.2×0.2	$G_{0.2\times0.2}$	K0.2×0.2	K0.2×0.?
Ha-s	117	375	_	,,	R0.4×0.4	R0.3×0.3	R0.3×0.3	R0.3×0.3	G0.2×0.2 +	K0.2×0.2
	118	380	_	,,	R0.4×0.4	R0.4×0.4	R0.4×0.4	_	G0.2×0.2	G0.2×0.2 +
	122	360	+	,,	R0.4×0.4		R0.4×0.4	G0.1×0.1	G0.2×0.2	G0.2×0.2 +
100	123	350	+	,,	R0.6×0.6	R0.5×0.5	R0.5×0.5	G0.1×0.1	G0.3×0.3 +	G0.3×0.3 +
BCG	127	320	+	,,	R0.4×0.4	R0.4×0.4	R0.4×0.4	G0.1×0.1	K0.1×0.1	K0.2×0.2
;	128	345	+	,,	R1.5×1.5	R0.6×0.6	R0.6×0.6	K0.3×0.3 +	G0.3×0.3 +	G0.4×0.4
	105	350	+	,,	R0.8×0.8	R0.8×0.8	R0.8×0.8	$G^{0.2\times0.2}$	G0.2×0.2 +	K0.2×0.2

表

	表 						
N····Na	rbe	近接淋巴腺	十····张 制	立大 ∰··· 夏大 ∰···	·蠶豆大 ·拇指頭大		
24 日	31 H	38 日	45 FI	52 日	59 H	66 H	73
	-	+++		— III			 ill
G0.3×0.3	G0.3×0.3	K0.3×0.3 ₩	± ##	- ##	 +++		
± ++	± ++	± ++	± ++	± ++	- ++	++	_ ++
K0.1×0.2 +	K0.2×0.2	K0.2×0.2 ++	K0.1×0.1	K0.1×0.1	K0.1×0.1	K0.1×0.1	K0.1×0.1
K0.2×0.2	K0.2×0.2		$K0.2\times0.2$	$\overline{K0.2 \times 0.2}$	$K0.2\times0.2$	$K0.2 \times 0.2$	$K0.2 \times 0.2$
K0.2×0.2	K0.1×0.1	K0.1×0.1	++ - +	++ +	++ +		++ - +
K0.2×0.2	i	<u>-</u> +		· ++	++	++	<u>'</u> ++
	₹0.2×0.2	± ++	± ##		——————————————————————————————————————	-	_
60.2×0.2	K0.2×0.2					+#+_ 	
+	++		++	****			***
G0.3×0.3	G0.3×0.3	1			++	++	++
60.2×0.2	$K0.2\times0.2$		++	++	0.1×0.1		- -
+ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$ $+$	K0.3×0.3	$\frac{+}{\text{K0.3}\times0.3}$	$\frac{+}{60.3 \times 0.3}$	+ G0.3×0.3	+ K0.3×0.3	$\frac{+}{\text{K0.3} \times \text{0.3}}$	$\frac{\pm}{\text{K0.3} \cdot 0.3}$
+ K0.3×0.3	$-$ + $G0.2\times0.2$	±	++	++	++	++	++
++ K0.3×0.3	++ K0.3×0.3	∰ G0.3×0.3	₩ K 0.3×0.3	₩ K0.3×0.3	₩ K0.3×0.3	₩ К0 3×0.3	$\frac{111}{60.3 \times 0.3}$
+	+ K0.2 < 0.2	++ ±	++	++	++	++	
+ K0.2×0.2	++	60.2×0.2	60.2×0.2	++			- +++
+ K0.2×0.2	+	+	++	++	++	++	++
$\mathbf{K0.2 \times 0.2}$	K0.2×0.2	K0.2×0.2	C0.2×0.2	C0 2×0 2		1:0 2 2 0 2	K0.2×0.2
++	++	++	++	++	++	++	++
$G0.2 \times 0.2$	1.1	K0.2×0.2 ++ K0.2×0.2	11	11	K0 2×0.2	- K0.2 ≠ 0.2 ++ -	K0.2×0.2
$+$ 60.3×0.3		++	+++	###	## ##	— ∰ K0,1×0,1	
+	+	+	$G0.2 \times 0.2$	K0.2×0.2 +	+	+	K0.1×0.1 +
K0.2×0.2	K0.2×0.2	+	+	K0.2×0.2	++	K0.2×0.2	K0.2×0.2
++	G0.2×0.2	G0.2×0.2	G0.2×0.2	G0.2×0.2	G0.2×0.2	60.2×0.2	G0.2×0.2
$+$ $G^{0.3 \times 0.3}$	K0.2×0.2 +	- +	-	- +	-	-	+

-11-	104 320	-1				G0.2×0.2	$\begin{bmatrix} 60.4 \times 0.4 \\ - \end{bmatrix}$
非	111 360 - ,				G0.2×0.2	G0.4×0.4	G0.4×0.4
死	112 370 -				_	G0.3×0.3	G0.5×0.5 +
	115 360 - ,	<u>-</u>		_		G0.2×0.2	K0.2×0.2
群	119 360 -		. <u>—</u>				G0.3×0.3

示スニ至ツタ。第6群、即チ非免疫群ハミク早 期反應ヲ缺キ、接種2週後ヨリ局所ニ硬結、或 大ノ大ナル腫脹ヲ見タ。

引續キ潰瘍ヲ形成シタガ、6週前後ヨリ治癒コーニハ潰瘍ヲ證スルニ至リ、是等ハ漸次擴大シテ、 剖検時迄毫モ縮少セズ、淋巴腺モ蠶豆及拇指頭

第22 表 剖 檢 所 見

,					113 173	771	./L		肾			
砭	海刮器剖。	肺		肝	J.4:	!	1		', 左	:	近接湘	大巴腺
雙	狽 檢 檢反	(F)	病 重	抋	重	抐	र्माः	抋	重	抋	大	峲
心	號。時重前應	4t	變量	Ŷ.	最	ágắ	i,i	縺	կ է	粉冻	+) -	***
	70 350 +	1	- 15	_	1.0	_	2		2		HH ₂	所
BCG	95 345 +	.1	13	-	1.0	-	2	_	2	_	++,	,,
及	91 400 +	1.5	- 11		1.2	_	2		2		HH :	
A.T.	93 350 +	4	— 13	_	1.2	•	2	_	2	_	##1	,,
	94 380 +	3.5	- 12	•	1.0	••	2	_	2		++1	,,
	96 370 +	5	_ 15		1.0	_	2	_	2	_	++,	,,
BCG	100 350 +	1	- 19		1.2	•	2_	-	2	_	111 <u>:</u>	.,
及	101 340 +	1 [- 11	_	1.2	•	_ 2	_	2	_	+1	,,
Np-s	102 360 +	4.5	11		1.4	_	2.2	_	2	_	++_	,,
	103 355 +	4.5	- 17		1.0	_	1 2	_	2	_	111 2	,,
l	106 350 +	9 '	• 35	••	1	••	2.2	•	2.2		HH ₂	,,
BCG	107 365 +	5	15		1.5	•	2.3		2	_	++1	,,
及	108 345 +	1 .	- 15		1.0		2	_	2		++2	
To-s	109 350 +	.5	18		2 -	. -	2		2		##1	
	110 350 +	1	18	' - .	1.5	•	2.5	_	2		##1	. <u></u>
500	113 390 +	- 1 -	14	-	$\frac{1.0}{1.0}$		2		2		++ ₁	···
BCG	114 410 +	6 ' -	$-\frac{15}{13}$		1.0		2		2		++1	**
及	116 385 +	4 -		_	1.5		2		2		##1	
Ha-s	117 395 +	1 -	_ 11	_	$-\frac{1.0}{1.0}$	<u> </u>	2		2		## ,	,,
·	118 420 + 122 380 +	3.5 -	- 13 - 13		$\frac{1.0}{1.0}$	_	2 2	_	? 2	_	## 1 ## 2	
	123 375 +		- 16	_	1.0		2	_ '	2		++1	
BCG	127 340 +	., -	- 19		$-\frac{1.2}{1.2}$	•	2		2		-	_'`_
BCG.	128 390 +	+ - + -	- 1.7 - 12		$\frac{1.2}{1.2}$	_	2		2	_	 2	
	$\frac{128}{105} \frac{380}{380} +$	6 -	- 12 - 17		1.0	_	2		2		### ₂	
非	103 360 +	9 -	20		3		2.2		2	-	++ ₁	
免疫	111 365 +	6 -	<u> </u>	••	2	••	2	• • -	2	_ :	H+2	-:
推	112 365 +		- 18		2	••	2			;	##1	- ''
	115 310 +	7	• 21	• •	1.8	••	2,5	•	2.2 _i	_	##2	
照	119 365 +	6 -	17	•	$\frac{1}{2.5}$	•	2	-	2 - 2	_	++2	'
	110 000 7	.,				<u>. </u>			~		TTY	

G0.4×0.4 +	G0.5×0.5 +	G0.8×0.8	G0.8×0.8	G0.8×0.8 ₩	K0.8×0.8 ₩	K0.8×0.8 ₩	K0.8×0.8 ₩
G0.7×0.7 +	G0.7×0.7 +	G0.7×0.7	G0.8×0.7	K0.8×0.8 ++	K0.8×0.8 ↔	K0.8×0.8 ++	K0.8×0.8
K0.5×0.5 +	K0.5×0.5 ++	K0.7×0.7	G0.7×0.7	G0.7×0.7	G0.7×0.7 ₩	K0.7×0.7	K0.7×0.7
K0.4×0.4	G0.4×0.4	G0.1×0.4	G0.4×0.4	G0.4×0.4	G0.1×0.1	G0.4×0.4	G0.4×0.4
G0.3×0.3 +	· K0.3×0.3 +	K0.1×0.1	K0.1×0.1 +	K0.1×0.1 +	κ _{0.1} ×0.1 +	K0.1 × 0.1	K0.1×0.1

第四項 剖檢所見(第22表)

毒力菌接種2ヶ月後、一齊ニ[『]クロロフ』ルム_』フ以テ 死ニ脳ラシス次ノ如キ剖検所見ヲ得々。

第1群ニ於テハ、肺ハ各例トモ異常ナク、肝ニ結節ヲ 證スルモノ1例 Nr. 94、脾ニ病變アルモノ2例(Nr. 93, 94 ヲ見タガ、何レモ極輕微ノモノデアリ、他ハ、全ク異常ヲ示サナイ。淋巴腺ハ各例トモ蠶豆乃至拇指 頭大ニ腫大シ、乾酪變性ニ 阁 ツテヰル。第2群ハ、肺、肝トモニ結節形成ヲ認メス、脾ニ病變アルモノ2 例(Nr. 100. 101)ヲ誇シタガ、少敷ノ結節ヲ見ルニ過 ギナイ。淋巴腺ハ、Nr. 101 ハ米粒大ニ止リ、他ハ蠶 豆或ハ拇指頭大デアツテ、內容ハ乾酪様ヲ呈シタ。第 3群ハ、肺、肝ニ結節ヲポユモノ1例(Nr. 106)、脾 ニ結核性病變ヲ認 ムルモノ3例(Nr. 106, 107, 110)ヲ得々。Nr. 106 ハ他ノ2例ニ比シ 幾分病變ハ 强ク見受ケラレタ。淋巴腺ハ蠶豆大乃至拇指頭大二 腫脹レ、內容ハ乾酪樣ヲ示シタ。第4群ハ、Nr. 116 ニ於テ脾ニ極輕微ノ病變ヲ認メベル外、他ノ例ハ全ク異常ヲ證シナカツマ。淋巴腺ハ何レモ腫大シ、乾酪變性ヲホシタ。第5群ニテハ、肺、肝ニ異常アルモノナク、Nr. 127 ニ於テ脾ニ少數ノ結節ヲ認メダルノミテ、淋巴腺ハ大ナルハ拇指頭大ニ及ビ、內容ハ乾酪變性ニ陷ツテキル。第6群ニテハ、肺ニ病變アルモノ2例(Nr. 104, 115)、肝及脾ニハ全例トモ高度ノ結核性病變ヲ認以、腎ニ於テモ2例ハ、Nr. 111, 115 極輕微ノ病變ヲ證ンダ。淋巴腺モ全の乾酪樣ヲ呈スルヲリダ。

第三節 本章ノ小括

本實驗 * 通覧スルー、對照群ニ比シ、第 1, 2, 3, 4, 5 群 / 或程度 / 感染防禦力ラ示シタ。而シテ又、ソノ中デモ BCG 單獨免疫群及ビ之ー引續 + Ha-stoff サ以テ處置シタル第4群が優レテヰル様 デアル。兹ニ 注目 ペペキハ、Ha-stoff 處置ニ依り、「アネルギー・狀態 トナリタル海須が、青力菌再接種ニ對シ、毫モ抵抗力ラ

減殺サレテヰナイ事デアツテ、 アネルギー」化 處置が発疫力ニ對シ些ノ影響チモ及ボサザル事 ナポスモノトリヘル。

何レニシテモ、BCG 免疫後 ノーツバルクリン」 或ハ其ノ劃分二 依れ 處置ハ、BCG ノ免疫賦與 カニ障碍・及ボサナイモノト云ヘヤウ。

第三章 ツベルクリン 及各劃分ニョル治療效果實驗

R. Koch ハ、ソノ著 Weitere Mitteilungen über ein Heilmittel igegen Tuberkulose ニ 於テ、ツベルクリン」が治療的ニモ效果サポス事ナ述ベテキルノデアルが、ソノ治效機轉ニ關シテ、ツベルクリン」の結核菌自身ニ作用スルノデバトク、恐ラクハ結核組織ニ作用スルノデアラウト信ジテ居ル様デアル。既ニ述ベタルが

如き、ツベルクリン・或ハ死菌製剤ハ、夫々ソノ酸表者ニ依レバ、Schutzwirkungト共ーtherapeutischーモ wirkenスルト稱セラレデキルノデアルガ、ソノ作用機轉ニ關シテ世ノ所謂刺戟療法ノ意味ニ於テ治效き呈スルノデアルカ、或ハ乂特異発疫的ニ作用スルノデアルカハ多クノ議論ナ生ンデキャノデアル。而シテ

又、陽性「アネルギー」・・以テ治療ノ目的トスルナレバ、Tagel ノ稱ヘシ如ク、「カルシューム」或ハ、「グリセリン・ブイオン」が「アレルギー」性反應ナ減弱セシムルト云フ事ョリシテ、非特異的ニ治療が行ハレテモ好イ事ニナル。ソシテスカ、コレトテモ非特異製劑ニソノ效力ノ大學ニ於ケル特異抗體ノ發生助長ト云フ事ョリスルス、不可ト考ヘラレル。特異性抗體ノ産生ニ對シテ、非特異性物質ニ幾分ソノ能力ァリトスルモ、特異性物質、即チ結核ニ於テハ「ツベルクリン」ののシテス、結核個體ニ對シ「ツベルクリン」ノ如ク

「ツベルクリン」死き 來ス 事 ナク、實地的 ーハ Herdreaktion ソノ他ノ病勢増悪作用き 有セズ 而モ獝特異免疫的ニ作用 スルモノガアルトスレ バ、コノ物質ハ最モ用フベキ可能性ノアルモノ ト巻へル。

余ハ「ツベルクリン」中「ポリサッカリード」性ヲ 帶ブル Ha-stoff ナル制分が、結核海猽ニ對シラ 致死作用ヲ呈スル事ナク、又健康海猽ニ對シテ ハ「アレルギー ヲ賦與スル事ナク、生菌感染ニ 對シー定度ノ抵抗力ヲ與フルヲ、本編第一、二 章ニ述ベタ。而シテ本章ニ於テハ、本物質ノ治 療效果ニ就キ少シク得ル處アルヲ以テ、此處ニ 述ベントスルモノデアル。

第一節 實驗方法

第一項 供試獸 300g 前後 / 健康海須50匹ヲ選ビ、コレニ人型結核菌 Frankfurt 株 / 約1ヶ月培養 /モノ 1/1000gヲ、各々皮下ニ接種シ、5群ニ分ツ。第1群 舊「ツ」處置群。第2群。Np-stoff 處置群。第3群 To-stoff 處置群。第4群 Ha-stoff 處置群。第5群 無處置結核海須群(對照群)トシ、次ノ如ク處置ス。

第二項 発疫元 賞「ツ」、Np-stoff, To-stoff, Ha-stoff ノ食臘水溶液ヲ使用ス。各劃分ノ詳細ニ就テハ第一編 ニ述ベタ。 第三項 免疫方法及免疫期間 人型 結核菌 接種 1 週後、焦「ツ ハ、ソ / 10 倍液 ョ、0.5—0.7—0.9—1.3—1.5 ccm / 順ニ増量シ、Np-stoff、To-stoff,Ha-stoff ハ、0.5—0.7—0.9—1.3—1.5 mg / 順ニ、ソ / 0.2 ccm 生理的食鹽水溶液 ヲ 5 日毎ニ皮下上射ニ。

第四項 觀 察

- 1. 體重/變化。
- 2. 「ツベルクリン」皮内反應ノ變化。
- 3. 毒力菌接種局所皮膚及近接淋巴腺ノ變化。
- 1. 毒力菌接種2ヶ月後ニ於ケル剖檢。

第二節 實驗成績

第一項 體重ノ變化二就テ(第23表) 毒力菌接種後1週間ハ各群トモ多少ノ増加サ示シタノデアルガ、「ツ」及割分ヲ以テ處置ヲ開始スルニ及ビ、第1、2、3群ハー時減少ヲ示シタ ルニ反シ、第4,5群ハ反ツテ 増加 ヘルコ 認メ タノデアル。之ハ第5群ハ無處置群デアルカラ 問題ハナイガ、第4群即 チ Ha-stoff 處置群二 於テ、他群ノ様ニ體重ノ減少ヲ示サス、反ツテ

第 23 表 體重ノ變化(平均) gr

	毒力菌 感染時		1 週後	增減	2週後	增減	3週後	坤城	4 週後	增減	5 週後	增減	剖検時
A.T.(第1群)	304	+ 4	307	- 3	304	+19	323	+ 9	332 -	- 7	325	+92	417
Np-s(第2群)	302	+15	317	-12	305	+11.5	316.5	+17	333.5	7.5	341	+91	432
To-s(第3群)	311	+12.5	323.5	-10.5	313	+ 4.5	317.5	+16.5	334 -	- 0.5	333.5	+97.5	431
Ha-s(第4群)	313	+ 5	318	+16	334	+ 5	339	+11.5	348.5		348.5	+94.5	443
對照(第5群)	276	+ 4	280	+ 9	289	+20	309	+27	336 -	-10	326	+96	422

_			1 . 1	, 1	, 1	. 1	, i	, i	, 1	,	,	, 1	, !			1		, 1	,		1	,	.	1	,		, 1		1			1
_1	聖		i	ا «.	0	6	-	i '	=	0	24	0.	0.	51	י רּיַב	14	O.	10.		0.	ا «.	6.	=) 0. :	· 5:	z.	21	! e.	15.	' -:	: 	0.
-	=	10×5×	1.0×1	0.8×0.	1.0×1.0	0.9×0.9	0.7×0.7	0.8×0.5	1.0×1.0	1.0×1 0	1.2×1.2	1.0×1.0	1.0×1.0	×	۰. × ۲.	.5×1	.0×1.	5×1.5	× 1	0×1.0	8.0×8.0	0×6.0	0×1.0	0.1×0.1	9.0×6.0	0.8×0.8	.5 × 1.	.0×1.	 	-: -: -:	× × × ×	.0×1
ř.	F	⋉	- <u>-</u> :	5	-	.o	0		-	- 1	1	=	-	1		-	_	- '	-	-	01			- !	c 	0	-	-	-			-
1	ا الله الله	, 1 ?	. 7. C	 	<u> </u>	8.0	(·		8	17.	0.	0.7	F .0	ري. ت	5. O	0.1	٠ <u>٠</u> ٠	<u>::</u>	7:-	Ē.	0.6	15	x. 0.	0.7	X.	10	o. I	5:1	0.	1.0	S. 0	0.1
1	;	10×	0.7×0.7	0.6×0 6	1.0×1.0	0.8×0.8	0.7×0	0.7×0.7	0.8×0.8	0.7×0.7	0.0×1.0	0.7×0.7	0.7×0.7	S S×S O	0×6 0	1.0×1.0	0.7×0.7	1.3×1.5	1.2×1.2	1.0×1.	0.6×0.6	0.7×0.7	X I	0.7×0.7	0.8×0.8	0.7×0.5	0.1×0.1	9.0×9.0	1.0×1.0	1.0 × 1.0	0.8x0.8	1.0×1.0
×	臣	: 2		1	1		ı	1	١			1	:				1					1	1							,		
ď	H.	10×1y	0.7×0.7	5×0.5	0.5×0.5	0.7×0.7	1.0×1.0	0.6×0.6	0.7×0.8	0.5×0.5	8 0 X 8 0	1.0×1.0	0.7×0.7	0.8X0.	1.0×1.1.	×1.5.	0.8×0.8	1.0×1.0	0×1.0	0.8×0 x	0.5 . 0.5	S OXS O	1.5×1.5	0.8×0.8	0.6×0.6	0.6×0.6	0×1.0	0×1.0	7.1 X X X X X X X X X X X X X X X X X X X	0 X X O	?!	\ \ \ \ \ \ \
g)	4	21 X	0.7	0.5	0.5	0.1	0.1	0.6	0	 	S. C.	ٔ ء ا	0.7	%. O	1.0	1.5×1	8.0	0 1	0 1	S. 0	ان اد	S. C	.:	x.	9.6	0.6	-	0.1	51	1.0	7:	?
-	臣	۲.	10	1	ا ا	16		1	9	1	1	اً اِ	1	9	ا . ت .	0	9	0	x	x	اء. ا	· .	in l		:s	15		x.	=	()	ı-	=
ial.	57 日本	10× ⁻ ∞	0.5×0.5	0.4×0.4	0.6×0.6	0.5×0.5	0.7×0.7	0.5×0.5	0.6×0.6	3×0.8	0.6×0.6	0.5×0.5	0.7×0.7	0.6×0.6	1.0×1.e	$1.0 \times \bar{1.0}$	0.6×0.6	$1.0 \times \overline{1.0}$	0.7×0.8	0.8×0.8	0.5×0	1.0×1.	.5×1.5	0.5×0	0.6×0.6	0 5×0 5	0.7.70.	S.OXS O	0.1×0.1	0.1×0.1	0.7×0.	× 0
		K 10	0	0.	, o	0.	ှ <u>င်</u> ၂	2	ا آ	-	Q	9	C	0	· -i	-	0		0	0	0		- I	Ó	c '	(C	0	c	_	-	0	.
*	世		1.2	0.3	5.	æ.	ે! ?!	. 9.(٤.	. 5.	ie 1	×.	1.5.1		· s.	1.5	5.6	0.3	1.5	0.3	1.0	0.5	0.1	2.1	9 (. · ·		1.7	0.3	×.	0.1	
렛' -	4	10×	$1.2\times$	2.0×2.0	1.5×1.5	1.8×1.8	1.2×1.2	0.6×0.6	1.6×1.6	0.5×0.5	1.5×1	1.8×1	1.5.1	1.2×1.2	1.8×1.8	1.5×1.5	0.6×0.6	2.0×2.0	1.5×1.5	2.0×2.0	1.0×1.0	$\stackrel{?}{\sim} 0 \times \stackrel{?}{\sim} 0$	2.0×2.0	1.2×1.2	0.6×0	1.5×1	5. O. X.	1.8×1.7	2.0×2.0	x . – × x . –	1.0×	?
*	E	×	1	1	1		. :	į		1	1	İ		1		1		ļ	1		. !			i i	1		: .		1	1 *	!	
(5)	世	2	0.5×0.5	0.7 - 0.7	0.6×0.6	1.0×1.0	0.7×0.7	0.5×0.5	0.8×0.8	1.1	0×1.0	8.0×8.0	0.7×0.7	0.8×0.8	1.2×1.3	1.0×1.0	+.0×	1.5×1 5	0.8×0.8	0.8×0.8	0.5×0.5	2.0×2.0	1.8×1.8		0.3×0.3	0.6×0.6	1.0×1.0	0.0×1.0	.××1.2	0.6×0.6	0.8×0.8	-
i	†?	10×	0.5	0.1	9.0	1.0	0.7	0.5	0.8		1.0	0	=	8.0	1.2	0.1	0.4×0	1.5	8.0	0	0	2.0	1.8	<u>.</u>	0.3	9.0	1.0	0.1	1.2	0.6	x. 0	?
=	F	, X	1	1		1				. 1	1			1		1							 				<u> </u>		<u></u>			
	# 8+	10× ⁷	1					1	1	1			11			1	1	1	1	1	1	1	ı	1	1	1	,	1	1	1	1	
37	Œ	K 10				1	1					: 	-		1	$\frac{1}{ \cdot }$	-					-		<u> </u>	<u> </u>		1	<u> </u>	<u> </u> 			Ī
Ŕį				'	'	'	' 	'	†: - -		<u>'</u> 	'	'	').2		'	ļ'	1	1	ļ '	'	- <u>-</u>	<u>'</u> 	<u> </u>	L'	<u> </u>	L'	<u> '</u>	<u>'</u>		
	3.4 母	_	l	1	1 :	. 1	1 1	1	0.4×	11	1	1 ;	11	- 1	0.3×(-	!!		1	1 1		1									1	
ĸ		报	150	5.6	33	54	5.5	96	1.6	80	09		19	7	24	5	15	9†	17	\$	6;	20	%	30	31	1 23	55	, 	35	:5	ž. X	1
#	#																										:111- 22					

第 3 表 「フベルゥー/ 皮内区態・變化(-)

第25 長 「ラベルカリン」皮内以近く鐘化(2)

	149 149		班 孙		* 32	運	ςι	P	国	汽	温暖	逐	152	堡	亳
		Ξ	指 81	噩	21 時 日	豆	空 81	豆	21 明	噩	18 同	噩	24 時間	<u>x</u>	田村
別。影	10× C = 1	: ' <u>'</u>	10×[5	<u>'</u>	10× [[] "]×01	, — '∠	10×[···]×01	×	10× [~] × 01	≅	.∵ 10×01	×	N 10× 0× 1 K	10× C	<u></u>
!		1		;	2.0×2.0	N	2.5×2.5	1	1.0×1.0		0.6×0.6		0.5×0.5	0.7×0.7	2
		1	1	1	2.0×2.0	W	2.5×2.5	1	0.4×0.4		0.4×0.1	-	0.6×0.6	0.6×0.6	9.6
		1			0.5×0.5	<u>.</u>)	0.6×0.6	il	0.4×0.4		0.3×0.3	~	0.6×0 7	0.7×0.7	1.7
2/		1			0.8×0.8	, v	2.0×2.0	1	0.3×0.3		0.1×0.4		0.6×0.6	$-\frac{1.0\times1.0}{1}$	0.
_		1			2.0×1.7	c.v	2.7×2.7		1.0×1.0		0.6×0.6		0.8×0.8	1.0×1.0	0.
—					2.0×2.0	: 74. 	2.0×2.0	1	0.5×0.5		0.6×0.6		0.7×0.7	0.7×0.7	7.
				1	1.5×1.5	7	.5×1.5		0.3×0.3		0.4×0.4	. <u> </u>	1.0×1.0	1.0×1.0	o.
			!	١.	1.0×1.0	_	.5×1.5		0.6×0.6		0.4×0.4	!	0.7×0.7	9.0×0.0	ت. :
	1	1		ı	1.5×1.5	71	5 5X 5.2	1	0.1×0.4	į	0.5×0.5		0.8×0.8	1.0×1.(<u> </u>
3.7					1.7×1.7	31	2.0×2.0	į	0.6×0.6	1	0.5×0.5	<u> </u>	1.0×1.0	-1.0×1.0	0
3			1	. •	1.2×1.2		2.0×2.0		1.0×1.0		1.5×1.5		1.2×1.2	1.2×1	
34. 63		1	1	-	1.5×1.5	. 63	2.0×2.0		1.5×1.5	1	2.0×2.0		1.5×1.5	1.7×1	- 2
		1	1		0.6×0.6	0 -	0.6×0.6	1	1.2×1.2	. 1	2.0×2.0	;	1.0×1.0	-1.2×1	.2
		1		1	1.5×1.5	? -	2.0×2.0		1.3×1.3	1	2.2×2.2		0.8×0.8	1.5×1	. č.
群 66			-		2.0×2.0	2	2.3×2.3	1	1.6×1.6	1	2.5×2 5		1.2×1.2	2.0×2	0
		1	1		0.5×0.5	€3	2.0×2.0	1	2.0×2.0		2.3×2 3	1	0.9×0.9	1.5×1	.5
		1			×	⊘≀	2.5×2.F	1	1.6×1.6	1	2.0×2.0	· ·	1.0×1.0	1.5×1	.5
39		i i	i	1	0.4×0.1	0 !	0 5×0 5	; 1	1.0×1.0		1.6×1.6		0.8×0.8	1.6×1	9
55		!		•	0.6×0.6	-	1.0×1.0	1	1.0×1.0	i	1.3×1.3		1.2×1.2	- 1.5×1	.5
71		-			2.0×2.0	- 2	2.0×2.0	1	1.8×1.8	í	2.0×2.0		1.0×1.0	- 1.8×1	∝

増加サ見タト云フノハ、 結核のないでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はなりでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、

第二項 「ツベルク リン」皮内反應ノ 變化ニ就テ

第 24,5 表ニ示シタルガ 如ク、毒力菌接種2週後 ニハ,各獸トモ强陽性ニ 轉化スルノデアルガ、割 分處置後、第4群ニ於テ ハ、試獸ノ半數ハ陰性化 シ、第1群ニ於テハ、陰 性ト迄ハナラナクテモ 反應度ハ極度ニ弱マリ、 他群ニ於 テハ 蓍變ヲ認 メナイ。然シ剖檢前ニ ハ各試獸トモ 再ビ 强陽 性ヲ示スニ至ツタ。卽 チ、Ha-stoff 及舊「ツ」 ノ處置=依り、結核海猽 ノ「ツ」皮内反應 ヲ 陰性 化或ハ弱メル 事ハ 出來 ルノデアルガ、之ヲ放置 スレバ 再ビ 陽性轉化サ 認メルノデアツテ、コノ 現象チモ positive Anergie ト稱スベキカ、寧ロ latente Allergie ト 稱ヘタ方ガ適當ノ如ク思ハレル。

第三項 毒力菌接種局所皮膚及近接 淋巴腺所見(第 26、27 表)

各群、各試獸何レモ 毒力菌接種後約10日ニシテ皮下ニ小結節ヲ生ジ、20日乃至30日 ニシテ膿瘍或ハ自潰シテ潰瘍ヲ認ムルニ至ツタ。然シ

ナガラ、是等ノ局所皮膚ノ髪化モ、割分處置ニ低リ、多少異 ナル 所見コ得ル 事ガ出來タ。即チ、第3群及ビ第5群ニ於テハ剖檢時迄、局所皮膚病變ノ治癒シタルモノ1例モ無キニ反シ、第1群ニテハ3例(Nr. 53, 54, 56)、第2群ニテハ4例(Nr. 41, 42, 43, 46)、第4群ニ於テハ5例(Nr. 18, 19, 21, 24, 27) 認入、猶コ

第26 表 感染局所皮膚所見

3137	777	Let.	Luke			(R·	·Rotur	าณ	N ·	·Narl	oe .			, de			4:V: -	
群	番	性	摘	皮	η¥.	$\{{f G} \cdot$	· Gescl · Krust	wür		··Tum ··Abze		淋巴	腺 (++	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	粒 大豆 大		登 豆 拇指更	
別	號)SIJ	要	24時 間	4 日		10	Ħ	20	В		В	40	Н	50	В	60	В
	51	†	皮淋		 -	-		-	-		T0.4	⊦×υ.4 	T0.5	×0.6 +	K0.	↓×0.4 +	K0.2 ∃	×0.2
第	52	\$,,	_	_	_	_	-	T0.2	2×0.2 +	T0.5	×0.5	A0.5	×0.5	F.	×0.4	NO.3	
99	53	↑	,,		_	_	Т0.3	×0.3	T0.5	×0.5		×0.7		×0.7	G0.5			- 1
	 54	↑					T0.1	$\times 0.4$	T0.6	×0.6	A0.6	×0.6	G0.		$\overline{\mathbf{K}}$ 0.1			-
群	55	 	,,	-		!	T0.3	×0.3	$\overline{\text{T0.5}}$	$\times 0.5$			K0.4	×0.4	$\overline{\mathbf{K0}}$.	×0.4	$\overline{G0.4}$	~ ×0.4
A.T.	 56	· - · · · ·					T0.3	×0.3	T0.6	×0.6	A0.6		K0.4		$\mathbf{G}0.2$			
淚	57			_	_		$\frac{-}{\text{T0.3}}$	- ×0.3	T0.5	$\times 0.5$		$\frac{+}{\times 0.7}$	·	$\frac{+}{\times 0.7}$		$\frac{H}{\times 0.7}$	₩ G0.5	
処				_			$\frac{-}{\text{T0.2}}$	×0.2	T0.4	- ×0.4	T0.5	⊬ ×0.5	 K0_3	⊦ ×0.3	+ K0.3	$+$ $\times 0.3$	G0.3	
置	58							-		+		H	+	+ _	<u> </u> +	+	$\frac{+1}{G0.5}$	-
	60	\$		=	_		+	-		<u> </u>	+	+	H	H	+	H	##	-
	61	1	.,	_	_		_	-	-	-	-	-	+	+	+	+	K0.4	+
	10	\$,, 		_			-		<u> </u>		+	+	+	Ħ	H	G0.3	
36	41	*					T0.4	-		 	+	+	+	+	+	H	± ##	
	42	<u>,</u>	,,	_	_	!	T0.3	×0.3	T0.5	×0.5 ⊦		×0.6	A0.6		G0.3 †		— ##	.
	43	\$,,			_	T0.3	×0.3	G0.5	× 0.5	G0. 1	×0.4	G0.3	×0.3	G0.2	×0.2 +		·
群	45	\$	-,,	_		_	T0.3	$\times 0.3$	T0.5	× 0.5	A0.6	×0.6	Α0.6	×0.6		×0.6	К0.∔	
Np-s	46	\$,,				T0.3	×0.3	T0.5	×0.5	$\chi_{0.5}$	$\times 0.5$			K0.4			. —
[版	47	\$					T0.2	×0.2	$\overline{T0.4}$	×0.4	T0.5	$\times 0.6$		$\times 0.5$	K0.	$\times 0.1$	K0.4	×0.4
191	48	\$			- 1	!	T0.3	×0.3	T0.5	$\times 0.5$	T0.5	$\times 0.5$		×0.6			K0.4	×0.4
置:	19	\$: : 				T0.4	×0.4	T0.6	×0.6	$\frac{1}{10.7}$	<u>+</u> ×0.7	$\frac{+}{A0.7}$		·	+ ×0.3	$\frac{\text{#}}{\text{K0.3}}$	
;		-	····					·		!	T0.4	⊦ ×0.4		×0.4	+ - K 0. 4	+ ×0.1	$\frac{11}{60.3}$	
	50	\$,,			-					- ''	F	+		H		#	

									m0 4 × 0 4	mo Co 7	1107007	WO ENO E
1	28	\$,,						T0.4×0.4	T0.6×0.7	AU.7×0.7	K0.5×0.5
								T0 2×0 2	T0.5×0.5	$A0.7 \times 0.7$	$\overline{A0.7\times0.7}$	K0.4×0.4
第	30	\$,,					+	+	+	++	##
1 345	31	\$		_	_		$\overline{\text{T0.3}\times\text{0.3}}$	$T0.5\times0.5$	$\overline{A0.6} \times 0.6$	$\overline{A0.8\times0.8}$	$\overline{\text{G0.5}\times\text{0.5}}$	K0.5×0.5
	91		,,	-			+	+	+	++	##	##
1 1 1	32	↑					$T0.4 \times 0.4$	$T0.6 \times 0.6$	$A0.6 \times 0.6$	$G0.4 \times 0.4$	60.5×0.6	$G0.4 \times 0.4$
	.,.	<u> </u>	,,						+	+	++	##
群	33	↑	,,	_	_		$T_{0.3 \times 0.3}$	$T0.5 \times 0.5$	$G0.4 \times 0.4$			$K0.4 \times 0.4$
_ 1		0						+	++	##	 	##
To-s	34	Ţ.	,,	_		_	$T0.3 \times 0.3$	$T0.5\times0.5$	$T0.5 \times 0.5$,	$G0.3 \times 0.3$
]					_		+	+_	+	##	##	
1,5%	35	₹	,,	_	-	_	$T0.2 \times 0.2$	$T0.4 \times 0.4$	$T0.5 \times 0.6$	$T0.6 \times 0.6$	$A0.6 \times 0.6$	$A0.6 \times 0.6$
//25			<u></u> ,	_		_			+	+	++	##
	36	^	_ ,,			_	$T0.2\times0.2$	$T0.4 \times 0.4$	$A0.6 \times 0.6$	$G0.5 \times 0.5$		60.4×0.4
置				_					+	++		
,	38	1	,,			_	$T0.3 \times 0.3$	$T_{0.5} \times 0.5$				K0.2×0.2
								+	++	++	##	#
	39	Ţ	,,				$T0.3 \times 0.3$	$G0.3 \times 0.3$	$K0.4\times0.4$	K0.1×0.4		
i		J						_	+	<u> </u>	++	+++

第27表感染局所皮膚所見(2)

群	芥	性	摘	皮	片 节-	$\{ \mathbf{G} \cdot$	· Rötung · Geschwür · Kruste	N · · Nart T · · Tum A · · Abze	or 淋巴	^{ll泉} {+··米 ++··踠	粒 大 冊· 豆 大 冊·	蠶 豆 大 拇指頭大
別	别定	别	要	24時間	4 日	7 日	10 日	20 Н	30 日	40 H	50 H	60 H
	18	\$	た。休				T0.3×0.3	T0.5×0.5	T0.8×0.8 +	A0.8×0.8	G0.4×0.4	± ##
30	19	\$					T0.3×0.3	$T_{0.5\times0.5} +$	T1.0×1.0 +	A0.8×0.8 +	G0.3×0.3	- +++
	20	\$,	-			T0.4×0.4	T0.5×0.5	1.0×1.0	G0.4×0.4	G0.3×0.3	G0.3×0.3
四	21	†	,,	_			T0.3×0.3	T0.5×0.5	G0.3×0.3	G0.3×0.3	K0.2×0.2 ++	#
群	22	\$,,	_			$T^{0.3\times0.3}$	T0.3×0.3	T0.5×0.5	K0.3×0.3 ++	G0.3×0.3	0.3×0.3
Ha-s	23	\$,,	_			T0.5×0.3	$^{\text{T0.5}\times0.5}_{+}$	T0 7×0.7	A0.7×0.7	A0.7×0.7	0.4×0.4
處	24	\$.	.,	_	_		T0.3×0.3	T0.7×0.7 +	T0.7×0.7	K0.4×0.4 +	K0.4×0.4 ++	N ±
置	25	\$,,	_	_			+	T0 5×0.5	G0.3×0.3	G0.3×0.3	0.3×0.3 ++
	26	\$,,	-	_				$T^{0.5 \times 0.5}$	T0.5×0.5	T0.5×0.5	A0.3×0.3 ₩
	27	†	,,		_			_	+	++	G0.3×0.3	± ##
	62	\$,,				T0.3×0.3	T0.7 × 0.7 +	A0.7×0.7 ++	Λ0.7×0.7 ++	G0.5×0.5	G1.0×1.0
3A	63	\$,,	_			T0.3×0.3	T0.5×0.5 +	T0.6×0.6	A0.6×0.7	A0.7×0.7	K0.7×0.7 ₩
777	64	\$,,						T0.3×0.3	T0.6×0.6	G0.4×0.4	G0.6×0.6
, Ti .	65	†	,,				T0.1×0,4	T0.6×0.6	$\begin{array}{c} \sqrt{0.7\times0.7} \\ + \end{array}$	Λ0.7×0.7	K0.5×0.5 ₩	K0.7×0.7

	66	\$,,	=	<u> </u>		-	T0.3×0.3	T0.5×0.5	A0.8×0.8	K0.6×0.6 I	₹0.6×0.6 ##
群	67	\$; ! ,,	_	_		-	G0.3×0.3 +	G0.5×0.5	G1.0×1.0	G1.0×1.0 I	₹1.0×1.0 ##
對	68	\$, ,,	_	_		T0.3×0.3	T0.5×0.5 +	T0.5×0.5	A0.7×0.7	A0.7×0.7	30.7×0.7 ₩
88	69	\$,,	=			$T_{0.3\times0.2}$	T0.5×0.5 +	Λ0.7×0.7	A0.7×0.7	K0.6×0.6 (;0.6×0.6 ₩
	70	\$,,	_	_	_		T0.3×0.3	T0.5×0.5	A1.0×1.0	G0.7×0.7 (G1.0×1.0 ₩
	71	\$; .,.	=	=	_	T0.3×0 3	T0.5×0.5	T0.8×0.8	Λ1.0×1.0 ++	A1.0×1.0 I	ζ0.5×0.5 ₩

レーノ處置群ニ於テハ、其ノ他ノ試獸モ局所變 化ガ多少ナリトモ治癒傾向ラ示シテ居ルノデア ル。淋巴腺ニ於テハ、何レノ割分サ以テシタル モノモ、特異ナル點コ記メ難ク、各試戰共蠶豆 大乃至拇指頭大ニ腫大シタ。

第四項 剖見所見/第28、29表/

毒力菌接種 60 日後、全獣 ヺ「クロロフォルム」ニテ死ニ 脳ランイ、次ノ如キ剖檢所見き得み。

第1群ハ、肺ニ病變アルモ!1例(Nr. 55)、肝か2例(Nr. 53, 55)、脾ニ於テハ、結核性結節ヲ認メザルモノガ1例(Nr. 51)アリ、輕微ナルモノ4例(Nr. 52, 57, 58, 61)ヲ認メ、他ハ高度ノ病變ヲ示シタ。第2群ニテハ、肺ョ侵サレタルモノナク、肝が2例(Nr. 47, 48)、脾ニ結節ヲ認メザルモノ1例(Nr. 11)、軽微ナ

ルモノ5 例 Nr. 40, 42, 43, 46, 50,、他ハ相當高度ノ病變ヲ認メダ。第 3 群ニ於テハ、病變ヲ全然認メザルモノ1 例モ無ク、肺 が 1 例(Nr. 33、肝 か 2 例(Nr. 30, 35)、脾ハ病變輕度ナルモノ 3 例(Nr. 36, 38, 39)ヲ除キ、他ハ何レモ多敷ノ結節ヲ表面ニ認メダ。第 4 群ハ、全ク病變ヲ認メザルモノ 2 例ヲ得(Nr. 18, 21)、輕微ナルモノ 5 例(Nr. 19, 20, 23, 26, 27)ヲ認メ、他ノ 3 例ハ高度ノ病變ヲ示シ及。第 5 群ハ、各試獸何レモ肺ニ、肝ニ、或ハ脾臓ニ高度ノ結核性病變ヲ示シ、殊ニ脾表面ハ結節ヲ以テ全ク 酸ハレタルモノ 少カラズ、從ツテソノ重量モ増加セルモノ 多數ヲ 認メ及ノデアル。淋巴腺ハ各處置群ニ特異ナル點ハ認メ難ク、何レモ蠶豆或ハ拇指頭大ニ腫大シ、内言ハ全ク乾酪樣變性ヲ示シタ。

第28表 剖 檢 所 見

群	番	肺		肝		脾	!		fī	ii s	7: ::		里 腺
		重	抋	重	抋	重	病	W	1/4	順	捥	大	į Hį
别	號	14	鏈	48	* 1	骶	變	-111	鞭撻	詩	100 m	+}	*
	51	4	_	14	_	1		2	_	2	_	++	西各
郭	52	5		16	-	1.5	•	2		2	_	Ħ	.,
	53	4.5	_	14.5	•	2	:•	2	_	2		1111	,,
	54	5	_	15	_	2	:•	2	-	2	_	+++	•••
群	55	5	•	16	•	2.5	:•	2	_	2		##	
A.T.	56	5.5	_	18	_	2	••	2	_	2	_	###	•
煶	57	4 1	_	13	_	1	•	2	_	2		##	.,,
	58	6 1	_	15	_	1	•	2	-	2		HH	,,,
置	60	- 4.		14.5	_	1.5	••	2	-	2		##	,,
ĺ	61	3.5	_	14	_	1.5	•	2	· —	2	_	##	,,
	40	4	_	15	_	1.5	•	2	_	$\overline{2}$, 	,,
第	41	5.5		17	_	1	_	2	_	2	_	##	,,
_ [42	4	_	16	_	1	•	2	_	2	, -	###	,,
	43	3	_	11	_	1.5	•	2	_	2	· -	##	,,
群	45	3	_	19		2.5	••	2	i —	2	_	##	ļ

										L			
Np-s	46	3.5	_	18	_	1	•	2	i –	2	_	###	,,
處	47	4	_	15	•	1.5	:•	2	_	2	_	##	,,
	48	4	_	15	•	1.5	:•	2	_	2	_	##	٠,,
ijί	49	3.5	_	14	_	2.5	••	2		2	_	##	,,
	50	4	_	16	_	1	•	2	_	2	_	##	
	28	3	_	. 16	_	1.5	••	2	_	2	_	##	,,
W	30	4	_	18	•	1.5	:-	2	_	2	_	##	,,
	31	4	_	17		1.5	••	2	_	2	_	##	,,
1 .	32	4.5	_	16		1.5	••	2	_	2		##	,,
群	33	4.5	•	20	_	2	:•	2	_	2	_	##	,,
To-s	34	5	_	17	_	1.5	••	2	_	2	_	##	,,
處	35	4	_	17	•	2.5	::	2	_	2	_	##	,,
	36	4	_	20	_	2	•	2.2	_	2	_	##	,,
07£	38	1	_	16		1	•	2	_	2	_	###	,,
	39	4 '	_	20	_	1.5	•	2	_	2		##	,,

第29 表 剖 檢 所 見

群	番	肺		J.F		月 阜			卢			淋〔	1. 腺
,		重	揃	重	抗	重	病	重	揃	. <u> </u>	r. 病		病
84	號	lik	颊							ii)	變	+)+	ı
	18	3	愛	- <u>量</u> 15 「	*# -	ी। 1	變	2	雄 一	2	* 一		一一一一一一一一一一一一一一一一一一
郅	19	3		15	_	2	•	2	_	2	_	+++	,,
四	20	3	_	14	_	1	•	2		2		111	-,,
!	21	3.5	_	15	_	1	_	2		2	_	##	,,,
群	22	3	_	18	_	2	:•	2	_	2	_	##	
Ha-s	23	3.5	_	15.5	_	1	•	2	_	2	_	##	,,
1號 -	24	3.5	_	14.5	_	1.5	••	2	-	2	_	##	,,
- 1	25	4	_	18.5	•	2	:-	2	_	2	_	111	,,
置。	26	4	_	16.5	_	1	•	2	_	2	_	+++	,,
,-	27	3.5		15.5	_	1	•	2	_	2	_	##	,,
i i	62	4.5	_	16	_	1.5	••	2	_	2	_	++	,,
第	63	5	-	19.5		2	••	2.3	_	2	_	##	,,
	64	5	_	19	_	2.5	:•	2	_	2	_	##	,,
.Ti.	65	5.5	•	16		2	:•	2	_	2	_	##	,,
群	66	5		19	••	2.5	::	2	_	2	_	###	,,,
	67	1		21	••	3	::	2.3	-	2	_	##	,,
對	68	1.5		18		1	•	2	-	2	_	##	,,
1122	69	4		17	_	2	••	2	-	2	_	##	,,
照	70	4		16	_	2	••	2	-	2	_	##	,,
	71	5	•	18	•	2.5	:•	2	_	2	_	###	

第三節 本章 2 小括

本實驗ニ關シ、體重ノ變化ニ於テ、Ha-stoff ガ 終始何等ノ悪影響ヲ及ボサザル點、毒力菌接種

局所皮膚ニ於テ瞭カナル治癒傾向サ示ス點、及 割檢所見ニ於ケル他群ニ比シ病變ノ輕微ナル點 ヲ綜合スルー、Ha-stoff ガ多少ナリトモ、結核 海猽ニ對シ治癒的作用ヲ及ボス如ク考ヘラレ、 之ニ續キ Np-stoff 及舊「ツーニモー程度ノ治療 效果が期待サレル様ニ思ハレル。

第四章 總括及考按

肺炎球菌含水炭素ニ關スル Avery, Heidelberger 及其共同作業者 / 劃期的業績 ヲ 端緒 トシ テ、菌體抗元ノ化學的造構ノ分野ニ於テ、細菌 化學ノ輓近ノ貴重ナル業績ハ、幾多ノ興味深ィ 新事實ヲ提供シツ、アル。爾來菌體含水炭素ニ 關シテハ、Lancefield⁷¹⁾、Furth u. Landsteiner ⁷²⁾, Morgan ⁷³, Tomcsik ⁷⁴⁾ 等ノ研究ガアル ノデアルガ、菌體含水炭素 ノ 抗元性ニ 關 シ、 Avery, Heidelberger ハ Hapten ナリト稱シ、 Shieman⁷⁵, 及 Casper, Shieman⁷⁶, Francis⁷⁷, 及 Tilett, Finland 78 及 Sutliff, Zozaya 79 及 Clark 等ハ抗元性ヲ有スト稱ヘテヰル。然シナ ガラ、Avery ⁸⁰¹ 及 Goebel ハ 1933 年-次ノ如キ 興味深キ新事實ヲ報告シタ。卽チ肺炎菌Ⅰ型ニ 於テ、Polysaccharid ノ Acetyl 誘導體サ分離 シ、コノ物質が Kapsel 中一存 スルモノデア り、而モ活動免疫コ賦與セシムル事が出來ルト 唱道シ、猶又コノ Acetyl-group ガーアルカリ デ處置スルト 破壞 サレ、免疫元性ハ 失 ハレ、 反應元性ノミ殘ル事ヲモ瞭ニシタ。 Boivin®1. Raistrik(82) 及 Topley, 細谷**等ハーサルモネ ー 元核ヨリ 有毒性 ニシテ 且ツ抗元ヲ 有 スル Complex Polysaccharide チ分離シタ。1937年 食内 タサンパベスト」菌體抗元ノ二元性チルヲ認ム ルニ至り、「ベスト」菌ニハ発疫學的ニ完全ニ異 ナルニノ抗元、即チ Somatic Antigen ト S. I.F. (Specific, Immunizing Fraction) ガアリ、 前者ハ蛋白性デ、ハイフェル氏假性結核菌ノ夫 ト共通ナルニ反シ、後者ハ含水炭素性デアリ、 而モ「ペスト」菌ノ特異性ヲ決定シ、「ペスト」抗 感染能力ヲ賦與スル 主體 デァルト 云 フノデァ

余ハ、「ツベルクリン」及ビ其割分ノ発疫學的實 驗ヲ行ヒ、「ツベルクリン」中含水炭素性ヲ帶ブ ル Ha-stoff ナル割分が、抗感染能力・保有ス ル事ヲ知り得タノデアルガ、コノ事實ハ前記合 内氏等ノ「ベスト」南ニ於ケルたレト、一脈相通 ベルモノアルヲ思ハシメルモノデアツテ、加藤 ガ・ツベルクリン」ニ「フォルマリン」ナ作用サシ タルモノガ、生體ニ悪影響サ及ポス事ナク、而 モ豫防的ニ效力サ發揮スト云フハ、余が第1報 ニ於テ報告シタル、「フォルマリン」及「トリプシン」が To-stoff ニノミ作用シ、Ha-stoff ニハ影響ナ及ポサザル事實ヨリ觀ズレバ、其ノ像防的 效力ハ Ha-stoff ニ由來スルモノニ非スヤト号 ヘルモノデアル。

Ha-stoff / 感染防禦力ニ關シ、此處ニ注目へに もい該物質が健康動物ニ對シ、「アレルギー」狀態タラシメル事ナタ、猶ヨク抗感染能力・賦與 スル點デアツテ、菌體ヨリ抽出セラレタル燐脂 質が斯ノ如キ作用サ有スル事ハ既ニ川村等ニ依 リ報告サレタノデアルが、Br. Lange⁸⁵、戸田⁸⁶ 教授ノ述ブルが如ク、「アレルギー」ハ心ズシモ 免疫ニ不可缺ノモノニ非ズ、「アレルギー」ナク シテモ免疫が存在シ得ルト云フ淀+裏書キスペ も、有力ナルー根據トモナルデアラウ。

余ハ第二章ニ於テ、死菌、燐脂質、「ツベルクリン」、及其劇分、或ハ是等/混合物サ発疫元トシテ、結核菌ニ對スル感染防禦力サ比較實驗シタノデアルガ、コレト共ニ BCG ノ效力サモ併生比較シ、最モ優秀ナルモノハ BCG デアリ、大変死菌+Ha-stoff 死菌、燐脂質+Ha-stoff 燐脂質、Ha-stoff ノ順大ナルサ瞭ニシタ。コノデアの大大の大変を大力でクモナイ事ラ示スモノデアツテ、生菌免疫ノ優秀ナルハ、恐コクハ Ha-stoff ノ如キ免疫力サイスル物質が絶エズ分泌セラレ、コレト菌體自ノが元力ト兩々相俟ツテ、强力ナル抗感染能力サ液揮スルモノナラント想像セッレルノデアル。然シ、生菌免疫=死菌+Ha-stoff デハ勿論ナ

1。生菌免疫=死菌+Ha-stoff+X = 近キモノデアリ、正シクハ生菌免疫=生菌+Ha-stoff+Xデアラウ。

BCG ノ発疫元性ニ關シテ、假令之ト共ニ「ッベルクリン」或ハ割分・併用シテモ、ソノ発疫元性ノ害ハレナイ事で、第三章ニ於テ述ベタノデアルが、コノ事實ハ一面 BCG が「ツベルクリン」ノ如キ刺戟性物質ト共ニ用ヒラレテモ、毒力復歸ノ憂ナキュ示スモノトモナルト思フ。「斯様ニシテ我々ハ、バスツールノ 炭疽病「ワクチン」が持ツテキルト同ジ様ト 遺傳的ニ固定サレタ弱毒性サ持ツタ 眞ノ「ワクチン」ヲ得ルコトガ出來タノデアル。何トナレバ我々ハ動物カラ動物へト連續的ニ通過傳染ラ行ツテ見テモ、亦コノ菌ト「ツベルクリン」ヤ其ノ他ノ刺戟物トノ混合液ヲ動物ニ接種シテモ、コノ菌ノ性質ヲ元ノ强毒性ニ迄復歸サセル事ハ全然出來ナカツタカラデアル」ト Calmette ハ述ベテキル。

更二余ハ第四章ニ於テ、Ha-stoff ガ結核個體ニ對シ、多小ナリトモ治癒效果チ示ス事ヲ記シタノデアルガ、本物質ガ含水炭素性デアリ、恐ラクハ他種細菌ニ於ケルガ如ク菌體毒素ニ屬スベキモノデアリ、且又抗感染能力ヲ有スル事ヨリ見ルナレバ、本物質ノ治效力ナルモノハ、ソノ有スル脱感作能カニヨル「アネルギー」狀態ヨリ來ルモノニハ非ズシテ、Ha-stoff ガ本質的ニ有スル免疫元性ニ由來スルモノト解シタイ。而モ猶、Hayek,貴島等ノ說ニ一致シテ、陽性『ツ」無反應ニモ拘っズ抵抗力ヲ示シタルハ、「アレルギー」ト抵抗力ノ一致セザル事アルチ示スベキ興味アル事質+提供シタルモノト考へル。

以上、余ハ、余ノナシ來ツタ諸實驗ヲ綜括記載 シタ次第デアルガ、是二依リ複雑ナル結核発疫 ノ本態ノ一部ヲ知ル 事ガ 出來タト信 ズルト共

ニ、此ノ實驗が結核ト云フ文明人ノ災禍ヲ防遏 スルニ、少シデモ寄與スル處アレバ、是ニ過ギ タル喜ビハ無イノデアル。恩師戸田教授ハ其ノ 著「基礎的結核研究ノ現況」ニ於テ、「自分ハ日常 天然痘、狂犬病等ニ對スルガ如キ生菌免疫法ガ 結核ニ於テモ可能デアルト云フコトガ、ソレハ BCG デアツテモ 將又他ノ発疫 デアツテモ良ィ カラシテ、1日モ早ク最モ公明正大ナル實驗成 績ニ依ツテ決定セラレ、世ノ多クノ人々ヲ恐ル べキ結核ノ犠牲カラ救ヒ得ル時ノ來ラン事サ祈 ルモノデアル。而シテ亦自分自身モ至ラヌナガ ラコレニ向ツテ微力ヲ致サントシテ、コレガ研 究ヲ續ケテヲルノデアル」ト述ベテ 居 ルノデア ルガ、吾々ハ、之ヲ銘記スルト共二、Robert Koch ガ 結核菌發見當時述 ベタル「今後我々ハ 恐ルバキ結核ノ災禍ニ對シテハ、最早コレ迄ノ **檬ナ不確實ナ、ソシテ定見ノナイ防豫法ヲ用フ** ルニハ及バナイ。我々ノ目前ニハ今ヤ見ル事モ 出來又觸レル事ノ出來ル寄生物 ガアル。ソシ テ、ソノ生活條件モ一部分ハ明カニサレ、殘リ ノ部分モ續々研究 サレツ、アル」ト云フ 言葉ヲ **カトシテ、斯界ニ微力ヲ致サントスルモノデア** リ、1932 年 3 月 8 日佛蘭西醫學會 / 席上デ Calmette が、「1911年5月21日 Robert Koch ガ充分ナル活動力ト栄養トニ惠マレナガラ突然 心臓病ニ倒レテ以來、已ニ20餘年ノ歳月ハ流 レテヰル。時ノ力ハ偉大ナモノデ、ソノ間少シ ヅッ帳ハ開カレ、地平線ハ明ルクナツテ來テヰ ル。 ヤガテ 我々 / 時代モ過ギ次 / 時代トモナ レバ、人々ハ結核ト云フコノ文明人ノ災禍ニ就 テハモハヤ何事モ 知ラヌ 様 ニナルカモ 知レナ イ」ト述ベタルガ如キ 日ノ1日モ早ク 來ラン事 ヲ祈ルモノデァル。

第五章 結論

(1)「ツベルクリン」割分中「ポリサッカリード」 性サ帯ブル Ha-stoff ハ、結核菌ニ對シ或程度 ノ抗感染能力ヲ有スル。

- (2)而モ、本物質ハ健康個體ニ對シ、「アレルギー」賦與能力ハ有シナイ。
- (3)BCG ハ、感染防禦能カニ於テ、死菌、菌

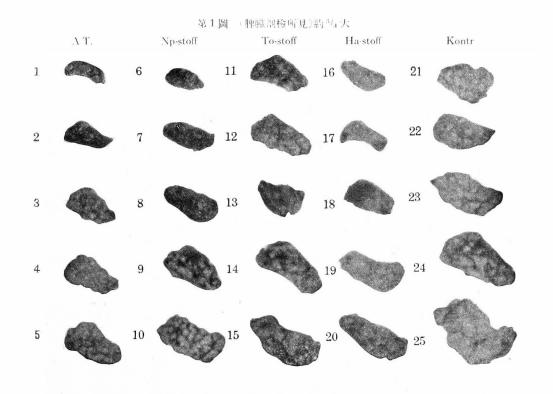
體成分及 Ha-stoff ノ何レヨリモ優リ、又是等 ノ諸成分或ハ死菌 ラ 合シタル 発疫元ト 云 ヘド モ、BCG ニハ遠ク及バナイ。

- (4)BCG 発疫後、「ツベルクリン」或ハ其劃分 尹以テ處置シテモ、BCG ノ発疫力サ害フ様ナ 事ハナク、又 BCG ノ毒力複歸ヲ思ハシメル事 モナイ。
- (6)生菌免疫ノ死菌免疫ニ優ル所以ハ、菌體自個ノ免疫元性ニ加ヘテ、Ha-stoff或ハ之ニ類スル物質が絶エズ分泌セラル、事モ、興ツテカア

ルモノデアラウ。

(7) Ha-stoff ハ叉、結核個體ニ對シ、多少ノ治療效果ヲ發揮スルモノ、如クデアル。而シテ此際往々伴 ツ テ 來ル 陽性「ツベルクリン」無反應ハ、結核免疫ト「アレルギー」トハ不即不離ナラザル事アルヲ示スモノト考ヘル。

終始御墾切ナル御指導+賜り且御乡忙ニモ拘ラス御校閱ナシ下サレタル恩師戸田教授ニ深ク感謝スルト共ニ、不斷ノ御鞭撻ト御指導+賜リタル本學皮膚科教室皆見教授ニ厚ク感謝ノ意+表ス。猶本研究ニアタリ種々御便宜+賜リシ占部講師始メ教室員各位ニ謝意+表ス。



Koatr : 所 見) 料 % 水 Phosph+Hasvoff erhitz Tb-B erhitz B+Ha-stoff BCG 1 2 岡(暦 Phosph 幹 Ha-stoff To-stoff Np-stoff

Literatur.

1) Calmette, A., Die Schutzimpfung gegen Tuberkulose mit "BCG" von A. Calmette. Aus dem Fran zösischen übersetzt von H. Kalbfleisch. Leipzig 1928. 2) Koch; R., Berl. kl. Wschr., Nr. 15, S. 1, 1882. 3) Römer, P. H., Beitr. L. Kl. Tbk. Bd. 11, S. 79, 1908. Bd. 13, S. 1, 1909. Bd. 17, S. 287, 1910. Bd. 22, S. 265, 1912. Hamburger, Fr. Beitr. z. Kl. Tbk., Bd. 12, S. 259, 1909. Hamburger, Fr, Grüner, Beitr. z. Kl. Tbk., Bd. 17, S. 21, 1910. 5, Della Cella, Zbl. f. Bakter., Bd. 36, S. 12, 1904. 6 Detre-Deutsch, Wien kl. Wschr., S. 764, 1904. 7 Feistmantel, Zbl. f Bakter., Bd. 36, S. 282, 406, 1904. 8) Kraus u. Volk, Wien. kl. Wschr., S. 699, 1910. 9) v. Behring, Novelvorlesung Stockholm 12 Dezember 1901 (zit. aus Ergebnisse der gesamten Tuberkuloseforschung. Schützimpfung gegen Tuberkulose von Br. Lange S. 263, 1930, Leipzig.) 10) Koch, R., Schutz, W., Neufeld, F., Miessner, Zschr. f. Hygien., Bd. 50, S. 300, 11) Klimmer, M., Zschr. Tiermed., Bd. 12, S. 18, 1908, Berl. Tierärztl. Hochsch, Dresden, S. 265, 1910. (zit. a. Ergeb. d. ges. Tbkforschg., Bd. 1, S. 263, 1930). 12) Friedmann, F. F., Deutsch. med. Wschr., S. 53, 1903. ebenda S. 166, 1904. Berl. kl. Wschr., S. 701, 1920. ebenda S. 2214, 1912. 13) Ferran, Zit. a. Calmette, S. 38. 14) Trudeau, E. L., Assoc. amer. Physicians, Vol. 18, p. 97, 1903. (zit. a. Ergebn. d. ges. Tbk-forschg., Bd. 1, S. 15) Mac Fadyean, Sheather, Edwards u Minnet, Zit. a. Calmette, S. 29. Hamburger, Fr. Die Tuberkulose des Kindesalters, 2. Aufl., S. 211, Leipzig u. Wien, 1912. 17 Webb & Williams, Journ. med Res., Vol., 20, p. 1, 1909, Journ. med. Res., Vol. 24, p. 1. 1911, Journ. amer. med. Assoc., Vol. 57, p. 1431, 18) Koch, R., Deutsch. med. Wschr., 1911. Nr. 14, S. 1, 1897. 19) Rosenau, M. J. & Anderson, J. F., Journ. inf. Dis., Vol. 6. p. 387, 1909. 20, Fischl, F., Zschr. f. Tbk., Bd. 42, S. 218, 1925. 21) Darenberg, Zit. a. Tuberkulose-immunität von E. Löwenstein, Kolle u. Wassermann, Bd. 5, S. 660, 1913. 22) Vallée, Zit. a. Nr. 21, 23) Beck, Zschr. f. exp. Path. u. Ther., Bd. 6, 1906. 24) Aronson, Berl. kl. Wschr., S. 2310, 1912. 25) Feinblatt u. Eggert. Zit. a. Kolle u. Wassermann, Bd. 5, S. 660, 1913. 26) Selter, H., Zschr. f. Hygien., Bd. 98, S. 192, 1922. 27) Haupt, H., Zschr. f.

Tbk., Bd. 33, S. 157, 1921. 28) Hericourt u. Richet, Zit. a, Tuberkulose-Immunität von E. Löwenstein, Kolle u. Wasserman, Bd. 5, S. 660, 1913. 29 Langer, H., Deutsch. med. Wschr., S. **513**, S, 915, 1925. 30) Uhlenhuth u. Götten, Dentsch. med. Wschr., Nr. 32, 33, 1920. 31) Petroff, S. A, Stewart, F. W., Amer. Rev. Tbc., Vol. 13, p. 57, 1926. Jour. Immun., Vol. 9, p. 309, 1924. 32) Böcker u. Nakayama, Zschr. f. Hygien., Bd. 101, S. 11, 1924. 33) Fernbach, H., Beitr. z. Kl. d. Tbk., Bd. 63, S. 60, S. 730, 34) Lange, B., Freund, R., Zschr. f. Hygien., Bd. 105, S. 571, 1926. 35) 渡邊, 結 核. 4卷, 393 頁, 大正 15年. 36) 有馬, 青山, 太 繩, 結核. 1 卷, 17 頁, 36 頁, 大正 12 年. Arima, R., Aoyama, K., Ohnawa, J., Zschr. f. Tbk., Bd. 41, S. 162, 1924. Ed. 42, S. 275, 1925. Bd. 43, S. 112, 201, 307, 1926. 38) 志智, 細菌學雜誌. 147 號. 761 頁, 大正 5年. 39) Noguchi, H., Zbl. f. Bakter., Bd. 52, S. 85, 1909. 40) Löwenstein, E., Zschr. f. Tbk., Bd. 15, S. 337, 458, 1909. 41) **清野**, 日本微生物學 會雜誌. 16 卷, 651 頁, 大正 11 年. 42) Dreyer, Brit. Jour. exp. Path., Bd. 4, No. 3, 1923. Babes, Deutsch. med. Wschr., S. 115, 509, 1891. 41) Much, H., Münch, med. Wschr., S. 685, 1912. 45 Barissaksieber, Zschr. f. Inf-krh., 1910, (zit. a. Nr. 54). 46, Metalinikou, Zschr. f. Inf-krh., 1910, (zit. a. Nr. 54). 47) Anderson, Jour. biol. Chem., 74, 1927., 83, 1929, 85, 1929. 48) Sabin, Jour. exp. Med., p. 627, 1927. 49) Pinner, M., Beitr. z. Kl. d. Tbk., Bd. 73, S. 784, 1930. 50 渡邊, 細菌學雜誌. 504頁, 大 正 10 年. 51) 中島, 十全會雜誌. 2883 頁, 昭和 8年. 52, 山田, 北越醫學會雜誌. 47卷, 1頁. 昭和7年. 53) 箭頭,滿醫誌. 19 卷, 799 頁, 昭 54) 川村, 結核. 15 卷, 9 號, 1100 頁, 和8年. 昭和12年. 55; Krause, R., Deutsch. med. Wschr., Nr. 44, S. 1855, 1930. 56) Korschun, S. W., Zbl. f. Bakter., Bd. 111, S. 297, 1929. Zschr. f. Immun-forschg., S. 57, 1929. Hutyra, F. V., Zschr. f. Immun-forsch., Bd. 62, S. 74, 1929. 58) Kirchner, O., Beitr. Kl. Tbk., Bd. 67, S. 198, 1928, Bd. 72, S. 109, 1929. Bd. 75, S. 327, 1930. 59) Chiari, H., Nobel, E., Sole, A., Zschr. f. Tbk., Bd. 50, S. 24, 38, 1928. 60) Moussa, G., Zit. a. Welwminsky (Zbl. f. geb. Tbk-forschg., Bd. 36, S. 497, 1932). Tiedmann, H. J., Beitr. z. Kl. Tbk., Bd. 75, S. 355, 1930. Bd. 78, S. 1, 1931. 62) Hormache,

Compt. rend. Soc. Biol., 104, 120, (zit. a. Weleminsky) 63) Petroff, S. A., Steenken, Schnieder, E. A., Beitr. z Kl. Tbk.. Bd. 74, S. 499, 64) Lange, Br. Beitr. z. Kl. Tbk., Bd. 81, S. 235, 1932. 65) Nelis, P., Picard, F., Ann. Inst. Past., T. 45, p. 54, 1930, T. 46, p. 27, 66 Nechitadimenko, Ann. Inst. Past. 1931. T. 45, p. 54, 1930. 67) 伊藤, 結核, 7卷, 昭和 4年,8%,昭和5年. 68) 高橋、伊藤、 結核. 8 卷, 昭和5年. 69) 今村, 結核. 6, 7, 8 卷. 70) 戸田,滿吟誌。18卷, 4, 5, 6號, 昭和8年. 71) Lancefield, R. C., Jour. exp. Med. Vol. 47. p. 91, 429, 857, 1928. Vol. 57, p. 571, 1933. 72; Furth, J., Landsteiner, K., Jour. exp. Med., Vol. 47, p 171, 1923. Vol. 49, p. 727, 1929. Morgan, W. T. J., Brit. Jour. exp. Path, Vol. 12, p. 62, 1931. 74) Tomcsik, J., Zschr. f. Hygien., Bd. 111, S. 119, 1930. 75; Shieman,

O., Casper, W., Zschr. f. Hygien., Bd. 108, 220, 76) Schieman, O., Zschr. f. Hygien., 1927. Bd. 110, S. 567, 1929. 77) Francis, T. J., Tilett, W. S., Jour. exp. Med., Vol. 52, p. 573, 1930. 78) Finland, M., Sutliff, W. D., Jour. exp. Med., Vol. 55, p. 573, 1932. 79) Zozava. J., Clark, J., Jour. exp. Med., Vol. 57, p. 21, 1933. 80) Avery, O. T., Goebel, W. F., Jour. exp. Med., Vol. 58, p. 731, 1933. 81) Boivin, A., Mesrobeanu, I., Mesrobeanu, L., Compt. rend. Soc. Biol., T. 113, p. 490, T. 114, p. 307, 82, Raistrck, H., Topley, W. W. C., Brit. J. exp. Path., Vol. 15, p. 113, 1934. 細谷, 實驗醫學雜誌 20 卷, 913 頁, 昭和 11 年. 84 倉內, 細菌學雜誌。493 號, 121 頁, 昭和 12 年. 85 Lange, Br. Zschr. f. Hygien., Bd. 94, S. 153. 1921. 86) 戸田, 實地際家下臨床. 14 卷, 11 號、1 頁.